

研 究 業 績

■ 安 部 誠 治

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) The 2011 Fukushima Nuclear Power Plant Accident:How and Why it Happened	共著	2014年12月	Woodhead Publishing, Cambridge	Y. Hatamura, S. Abe, M. Fuchigami and N. Kasahara: Chapter 1 (pp.1-20), Chapter 3 (pp.98-118), Chapter 4 (pp. 119-134), Postscript (pp.195-196)
(学術論文) JR北海道の連続不祥事と再生への課題	単著	2014年6月	埼玉大学経済学会	『社会科学論集』第142号, 21-33頁.
国有鉄道における鉄道事故に関する史的分析序説	共著	2014年10月	鉄道史学会	吉田裕・安部誠治, 『鉄道史学』第32号, 31-47頁 (査読有).
福島原発事故はなぜ起こったか	単著	2014年12月	体質研究会	『環境と健康』Vol.27 No.4, 共和書院, 491-500頁.
(その他, 論考・研究資料等)				
インタビュー 「特異で異例」の認識を	単著	2014年1月	東京交通新聞社	『東京交通新聞』1月1日, 19面.
JR北海道 続発する不祥事と再生への課題	単著	2014年1月	リスクマネジメント協会	『リスクマネジメント Today』1月号, 4-7頁.
JR北海道の不祥事と再生への課題	単著	2014年2月	トラボルト	『traport』第284号, マンスリーエッセイ第11回, 8頁.
運輸の安全を展望する	単著	2014年2月	運輸調査局	『運輸と経済』2月号, 177-179頁.
大阪地域協, 安部会長インタビュー (前半)	単著	2014年2月	陸運新報	『週刊 陸運新報』2月22日, 4-7頁.
大阪地域協, 安部会長インタビュー (後半)	単著	2014年3月	陸運新報	『週刊 陸運新報』3月1日, 6-9頁.
タクシー新法特集 安部誠治氏に聞く	単著	2014年3月	東京交通新聞社	『東京交通新聞』3月11日, 5面.
日本のタクシー 1国3制度へ	単著	2014年3月	トラボルト	『traport』第289号, マンスリーエッセイ第12回, 7頁.
再発防止策はモノマネに終始	単著	2014年4月	日経BP	『なぜ2人のトップは自死を選んだのか』吉野次郎著, 98-108頁.
いよいよ始まった人口減社会化	単著	2014年4月	トラボルト	『traport』第293号, マンスリーエッセイ第13回, 7頁
なくせるか踏切事故	単著	2014年5月	NHK	NHK「視点・論点」スタジオ出演, 5月12日.
JR北海道 腐食の系譜 福知山線事故対策をバクった	単著	2014年5月	日経BP	『日経ビジネスオンライン』5月13日.
JR東海の徘徊事故 再発防止 重い課題	単著	2014年5月	北海道新聞社	『北海道新聞』5月17日.
運輸災害の防止と減災のための包括的対策	単著	2014年6月	韓国・交通研究院	『月刊交通』6月号, 6-11頁 (韓国語).
インタビュー「今月お会いした方」欄	単著	2014年6月	韓国・交通研究院	同上, 54-59頁 (韓国語).
改正特措法後の大阪のタク業界 (前)	単著	2014年7月	陸運新報社	『週刊 陸運新報』7月26日号, 別刷.
改正特措法後の大阪のタク業界 (後)	単著	2014年8月	陸運新報社	『週刊 陸運新報』8月2日号, 8-9頁.
現場こそが安全確保の橋頭保—より安全な鉄道を創るために—	単著	2014年7月	西日本旅客鉄道労働組合	『JR西労組 UNION ニュース』西日本旅客鉄道労働組合 No.471.
JR北海道は再生するか サービス改善 道は支援を	単著	2014年10月	朝日新聞社	『朝日新聞』北海道支社版, 10月8日.
秋の全国火災予防運動に思う	単著	2014年11月	トラボルト	『traport』第313/314合併号, 9頁.
2014年を振り返って	単著	2014年12月	トラボルト	『traport』第318号, 6頁.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会招聘講演) 福島原発事故は何故起こったか—専門家の役割と倫理—	単独	2014年1月19日	健康財団グループ	京都新聞社後援『いのちの科学フォーラム』, 於・京都大学芝蘭会館
動き始めた我が国の事故調査システム	単独	2014年7月12日	失敗学会	2014年大阪大会, 於・大阪総合生涯学習センター

社会安全学研究 第5号

(国際セミナー招聘講演) keynote speech: Comprehensive Measures for Transport Disasters	単独	2014年5月24日	Korea Transport Institute	International Seminar on System Construction for Effective Response and Prevention of Transport Disasters, at Seoul
(講演) 運輸災害の防止と減災のための包括的対策 基調講演: ヒューマンファクターへの対応と鉄道のさらなる安全向上の課題	単独 単独	2014年5月23日 2014年5月26日	韓国・嘉泉大学校 西日本旅客鉄道株式会社・安全研究所主催, 近畿運輸局後援	於・韓国・城南市 第1回ヒューマンファクターシンポジウム, 於・グランフロント大阪
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下, フリー記入				
(所属学会) 公益事業学会(理事), 日本交通学会, 交通権学会(理事), 日本リスクマネジメント学会, 鉄道史学会				
(社会貢献活動) 運輸安全委員会業務改善有識者会議座長(継続) 消費者安全調査委員会臨時委員(2014年9月末まで) 大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会委員長(継続) 河内長野市国民保護協議会委員(継続) 大阪府タクシー準特定地域合同協議会会長(新規) 仙台市タクシー事業適正化・活性化協議会会長(新規) 大阪タクシーセンター評議員(継続) 原子力安全推進協会・原子力防災訓練検討委員会委員(継続) 関西電力・原子力安全検証委員会委員(継続) 国土交通省・運輸安全政策研究会委員(継続) 事業用自動車事故調査委員会委員(新規)				

研究業績

■ 小澤 守

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 第3節 攪拌容器内の共存対流場における熱伝達特性 巻頭言	分担執筆 単著	2014年 2014年	技術情報協会 ミネルヴァ書房	「攪拌・混合技術とトラブル対策」, pp.78-89, 松本亮介 防災・減災のための社会安全学, i-iii
(学術論文) Development of Water Heater Using Tubular Flame - Heat Transfer Characteristics on the Coiled Tube and the Inserted Tube Heat Exchangers	共著	2014年		Mechanical Engineering Journal, JSME, Vol.1, No.5, pp.1-15, R. Matsumoto, T. Tanikawa, T. Sugimoto, Y. Hisazumi, T. Hori, N. Kawai, A. Kegasa, Y. Shiraga, T. Takemori, M. Katsuki, (査読有)
Dryout of Counter-Current Two-Phase Flow in a Vertical Tube	共著	2014年		Int. J. Multiphase Flow, Vol.67, 2014, pp.54-64, Takeyuki Ami, Hisashi Umekawa, (査読有)
Effect of Flow Pattern on Critical Heat Flux	共著	2014年		Proc. 15th International Heat Transfer Conference, IHTC15-9376, pp.1-12, Tkeyuki Ami, Goshi Yamashina, Hisashi Umekawa, (査読有)
限界熱流束に対する流動様式の影響	共著	2014年		混相流, Vo.27, No.5, pp.571-576, 山科剛是, 中村典子, 網健行, 梅川尚嗣, (査読有)
CHF in a Circumferentially Nonuniformly Heated Tube Under Low-Pressure and Low-Mass-Flux Condition (Influence of Inclined Angles Under High-Heat-Flux Condition)	共著	2014年		Heat Transfer Engineering, Vol.35, No.5, pp.430-439, Takeyuki Ami, Takuta Hirose, Noriko Nakamura, Hisashi Umekawa, (査読有)
(その他、論考・研究資料等) 沸騰/沸騰流セッションから見る研究の行方 (第15回国際伝熱会議レビュー) 日本伝熱学会特定推進研究課題報告	単著 共著	2014年 2014年		伝熱, Vol.53, No.225, pp.48-51, (査読なし) 伝熱, Vo.53, No.225, pp.99-101, 鹿園直毅, 花村克悟, (査読なし)
ボイラー技術の史的展開 (6. ボイラー水循環理論の構築 (その1))	単著	2014年		ボイラ研究, No.388, (査読なし)
ボイラー技術の史的展開 (5. 自然循環ボイラーの成立—緩傾斜から急傾斜蒸発管へ (その2))	単著	2014年		ボイラ研究, No.387, pp.35-42, (査読なし)
Report of the JSME Research Committee on the Great East Japan Earthquake Disaster: Lessons Learned from the Great East Japan Earthquake Disaster, Chapter 7, Damages to Energy Infrastructures	共著	2014年		JSME, http://www.jsme.or.jp/English/report/geje/index.html , pp.79-89, Yasuo KOIZUMI, Tomio OKAWA, Hitoshi ASANO, Takao NAKAGAKI, Jun INUMARU+, Fumio INADA, (査読なし)
ボイラー技術の史的展開 (5. 自然循環ボイラーの成立—緩傾斜から急傾斜蒸発管へ (その1))	単著	2014年		ボイラ研究, No.385, pp.27-33, (査読なし)
ボイラー技術の史的展開 (4. 過渡的形式としての無循環水管ボイラー (その2))	単著	2014年		ボイラ研究, No.384, pp.34-41, (査読なし)
ボイラー技術の史的展開 (4. 過渡的形式としての無循環水管ボイラー (その1))	単著	2014年		ボイラ研究, No.383, pp.32-39, (査読なし)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 液体窒素自然循環系並列管の伝熱・流動特性 管状火炎を用いた給湯器の開発 規則充填物内気液二相流の流動特性	共同 共同 共同	2014年7月28日 2014年11月8日 2014年11月8日	日本混相流学会 日本機械学会 日本機械学会	混相流シンポジウム, 札幌 熱工学コンファレンス, 東京 熱工学コンファレンス, 東京

社会安全学研究 第5号

自然循環ループにおける再冠水過程の伝熱・流動特性	共同	2014年11月8日	日本機械学会	熱工学コンファレンス, 東京
(招待講演) ガス焚き湯沸器の技術開発とCO中毒事故—企業の危機管理の在り方を考える	単独	2014年7月15日	BERC (経営論理実践研究センター)	関西部会, 京都
化学プラント事故—その経緯と基本問題	単独	2014年10月24日	BERC (経営論理実践研究センター)	関西部会, 大阪
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 (フェロー), 日本混相流学会 (正会員), 日本伝熱学会 (正会員), 日本原子力学会 (正会員), 日本工学アカデミー (正会員), 火力原子力発電協会 (個人会員), American Society of Mechanical Engineers (正会員)				
(社会貢献活動) 日本機械学会・関西支部長, 日本混相流学会・監事, 日本伝熱学会・特定推進研究委員会委員長 独立行政法人日本原子力研究開発機構・もんじゅ安全・改革検証委員会 委員, もんじゅ安全委員会委員長代理				
(その他業績として記載を希望する事項) 日本機械学会・動力エネルギーシステム部門功績賞受賞				

研 究 業 績

■ 辛 島 恵美子

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 対面授業でのS-maqsを活用した双方向授 業の準備から実施まで (16章)	分担執筆・ 共著	2013年2月	ミネルヴァ書房	岩崎千晶編著『大学生の学びを育む学習 環境のデザイン…新しいパラダイムを拓 くアクティブ・ラーニング』関西大学出 版 p.271-282 冬木正彦・辛島恵美子・ 岩崎千晶
(学術論文) 安全・安心の哲学…言葉の概念から考える …	単著	2014年	長岡技術科学大学安全 安心社会研究セン ター	安全安心社会研究第4号, pp.27-38
安全・危険概念分析から見える現代日本社 会の高度科学技術制御の課題	単著	2014年	科学技術社会論学会	第13回年次研究大会講演集2014, pp.84- 85
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 安全・危険概念分析から見える現代日本社 会の高度科学技術制御の課題	単独	2014年11月	科学技術社会論学会	第13回年次研究大会講演会2014 (大阪大 学 豊中キャンパス)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本鉄鋼協会 科学技術社会論学会 日本材料学会 日本安全教育学会 日本社会医学会 応用哲学会				
(社会貢献活動) 財団法人 生存科学研究所 評議員 NPO法人 安全学研究所 理事 東芝エレベーター：未来エレベーターコンテスト2014 審査員 和歌山県防災会議委員				

■ 亀井克之

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
子どもの安全とリスク・コミュニケーション	共編著	2014年3月	関西大学出版部	関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班編, 251p.
経営学とリスクマネジメントを学ぶ—生活から経営戦略まで—	単著	2014年12月	法律文化社	194p.
現代リスクマネジメントの基礎理論と事例	単著	2014年12月	法律文化社	220p.
(分担執筆)				
リスクマネジメントの考え方	単著	2014年3月	関西大学出版部	関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班編『子どもの安全とリスク・コミュニケーション』第1章, pp.3-18.
子どもとソーシャル・リスク	単著	2014年3月	関西大学出版部	関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班編『子どもの安全とリスク・コミュニケーション』第2章, pp.19-36.
子どもの安全とソーシャル・リスクマネジメント —子どもの安全に関わるリスク対応と施策—	単著	2014年3月	関西大学出版部	関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班編『子どもの安全とリスク・コミュニケーション』第3章, pp.37-46.
学校の危機管理	単著	2014年3月	関西大学出版部	関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班編『子どもの安全とリスク・コミュニケーション』第10章, pp.173-196.
学校現場における安全管理・防災教育の実践 —高槻市立 磐手小学校における取り組み—	単著	2014年3月	関西大学出版部	関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班編『子どもの安全とリスク・コミュニケーション』第11章, pp.197-251.
(学術論文)				
Safety in movie theatres: a comparative study of France and Japan	共著	2014年3月	Inder Science	Pierre Roy and Katsuyuki Kamei in <i>International Journal of Business and Globalisation</i> , 2014 Vol.13 No.1, invited essay, pp.122-132. (査読なし)
創立35周年記念・国際会議参画と日本学術会議公開シンポジウムについて—パネルディスカッション記録と創立者からの言葉—	単著	2014年3月	日本リスクマネジメント学会	『危険と管理』第45号(日本リスクマネジメント学会 創立35周年記念号), pp.92-111. (査読なし)
音楽ライブ・エンタテインメント・ビジネスのリスクマネジメント	共著	2014年3月	日本リスクマネジメント学会	八木良太・大塚寛樹・亀井克之『危険と管理』第45号(日本リスクマネジメント学会 創立35周年記念号), pp.221-238 (査読なし)
音楽ライブ・ビジネスにおけるリスクファイナンス	共著	2014年3月	関西大学 社会安全学部	八木良太・大塚寛樹・亀井克之『社会安全研究』No.4, pp.77-92. (査読あり)
シャルボニエ著『テロとリスクマネジメント』について	単著	2014年7月	ソーシャル・リスクマネジメント学会	『実践危機管理』第29号, pp.51-53. (査読なし)
中小企業経営者の健康とメンタルヘルス	単著	2014年12月	日本政策金融公庫総合研究所	巻頭随想『日本政策金融公庫 調査月報 中小企業の今とこれから』No.075, pp.2-3. (査読なし)
(その他、論考・研究資料等)				
USJにおけるコンプライアンスとリスクマネジメント	共著	2014年3月	関西大学 社会安全学部	大森勉・亀井克之, 研究ノート, 『社会安全研究』No.4, pp.95-110.
子どもの安全とリスク・コミュニケーションII	編著	2014年3月	関西大学 経済・政治研究所	『調査と資料』第112号, 254p.

研究業績

子どもの安全とリスク・コミュニケーション —「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班4年間の活動—	単著	2014年3月	関西大学 経済・政治研究所	『セミナー年報 2013』pp.111-120.
学生団体KUMCによる防災・安全教育	単著	2014年10月	関西大学 社会連携部 地域連携センター	『関西大学 地域連携事例集 Vol.1』pp.72-73.
間伐材や地場の木材を使用した木の堀によるブロック堀代替プロジェクト」	単著	2014年10月	関西大学 社会連携部 地域連携センター	『関西大学 地域連携事例集 Vol.1』pp.74-75.
たかつきの防災 めざせ！未来の防災リーダー	共著	2014年12月	高槻市	作成協力、高槻市総務部危機管理室『たかつきの防災 めざせ！未来の防災リーダー』24p.
(その他、連載)				
イタリア国境の街マンントンのレモン祭り	単著	2014年1月	株式会社扶洋NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.66/2014新年号(「太陽と健康の文化 [南仏閑話]」第13回), pp.17-18.
南仏の港町 マルセイユが生んだ英雄	単著	2014年4月	株式会社扶洋NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.67/2014春号(「太陽と健康の文化 [南仏閑話]」第14回), pp.17-18.
夏の風物詩 バカンス地の音楽祭	単著	2014年7月	株式会社扶洋NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.68/2014夏号(「太陽と健康の文化 [南仏閑話]」第15回), pp.15-16.
南仏が生んだ昆虫学者ファープル —日本ではこれほど有名なのに本国では無名な偉人—	単著	2014年10月	株式会社扶洋NEXT 編集委員会	『NEXT』Vol.69/2014秋号(「太陽と健康の文化 [南仏閑話]」第16回), pp.19-20.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
現代リスクマネジメントの諸相 ソーシャル・リスクマネジメントとリスク・リテラシー	単独	2014年2月28日	日本学術会議第一部 経営学委員会・日本リスクマネジメント学会	司会兼問題提起、日本学術会議公開シンポジウム・日本リスクマネジメント学会 関西支部会・関西大学経済・政治研究所公開セミナー 日本学術会議講堂
(国際会議発表)				
Existe-t-il une diversité culturelle en matière de transmission/reprise des PME?	共同	2014年10月30日	AIREPME (Association Internationale de Recherche en Entrepreneuriat et PME)	Sonia Boussagué, Aude d'Andria, Louise Cadieux, Katsuyuki Kamei et Thierno Bah. Table Ronde, CIFEPME (12e. Congrès International Francophone en Entrepreneuriat et PME), Universiapolis, Agadir, Maroc, du 28 au 31 octobre 2014
(シンポジウム・実行委員長)				
現代リスクマネジメントの諸相 ソーシャル・リスクマネジメントとリスク・リテラシー	単独	2014年2月28日	主催 日本学術会議第一部 経営学委員会、日本リスクマネジメント学会、後援 関西大学 経済・政治研究所	総合司会、日本学術会議 講堂
中小企業・老舗企業経営者の健康とリスクマネジメント (La Santé du dirigeant des PME et Shinises et le Risk Management)	単独	2014年11月14日	主催 日本リスクマネジメント学会 後援 在日フランス大使館 アンステイチュ・フランセ関西、日仏経営学会、ファミリービジネス学会	総合司会、京都市国際交流会館
(招待講演)				
子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班活動報告	単独	2014年3月28日	関西大学 経済・政治研究所	関西大学 経済・政治研究所 顧問との懇談会、関西大学 千里山キャンパス 児島惟謙館
企業のリスクマネジメント	単独	2014年7月17日	関西大学 社会安全学部	連続セミナー「安全・安心社会と社会安全学」、関西大学 東京センター
南フランスの生活に学ぶリスクマネジメント	単独	2014年10月11日	扶洋双葉会	扶洋双葉会年次総会、メルパルク京都
ソーシャル・リスクマネジメント	単独	2014年11月22日	大阪能率協会	第14回 RM 講座、マイドーム大阪
海外におけるリスクマネジメントの現状	単独	2014年11月22日	大阪能率協会	第14回 RM 講座、マイドーム大阪

社会安全学研究 第5号

(通訳)					
アントルブルヌールシップの研究者として、 ニュージーランド地震の被災者として	単独	2014年4月16日	関西大学 社会安全 学部	関西大学・社会安全学部・外国人招聘研 究者レオ・ポール・ダナ講演会、関西大 学 千里山キャンパス	
ニュージーランド地震の被災体験 ―自宅 と研究室、そして母を失って―	単独	2014年4月15日	高槻市立奥坂小学校	2014年度高槻市防災教育委嘱校における 関西大学・社会安全学部・外国人招聘研 究者レオ・ポール・ダナ講演、高槻市立 奥坂小学校	
ニュージーランド地震に被災して	単独	2014年4月18日	高槻市立磐手小学校	2014年度高槻市防災教育委嘱校における 関西大学・社会安全学部・外国人招聘研 究者レオ・ポール・ダナ講演、高槻市立 磐手小学校	
ニュージーランド地震の被災体験 ―最愛 の母、自宅、研究室を奪った地震―	単独	2014年4月21日	高槻市立第八中学校	2014年度高槻市防災教育委嘱校における 関西大学・社会安全学部・外国人招聘研 究者レオ・ポール・ダナ講演、高槻市立 第八中学校	
(司会)					
ニュージーランド地震の被災者として、ア ントルブルヌールシップの研究者として	単独	2014年4月19日	関西大学 社会安全 学部	関西大学・社会安全学部・外国人招聘研 究者レオ・ポール・ダナ講演会、通訳 階 戸照雄、関西大学高槻ミュージズ・キャン パス	
アントルブルヌールシップの国際比較につ いて	単独	2014年4月19日	関西大学 社会安全 学部	関西大学・社会安全学部・外国人招聘研 究者レオ・ポール・ダナ講演会、通訳 階 戸照雄、関西大学高槻ミュージズ・キャン パス	
(高大連携事業 等)					
危機管理とリーダーシップ	単独	2013年7月12日	関西大学高大連携事 業 Kan-Dai セミナ ー	東大谷高等学校	
危機管理とリーダーシップ	単独	2013年7月3日	関西大学高大連携事 業 Kan-Dai セミナ ー	滝川高等学校	
社会安全学とは何だろう? ―防災ゲーム で学習しよう―	単独	2014年7月31日	大学コンソーシアム 大阪	大阪中学生サマー・セミナー、関西大学 高槻ミュージズキャンパス	
スポーツイベントと音楽ライブイベントの 保険とリスクマネジメント	単独	2014年8月23日	関西大学	模擬講義、関西大学サマーキャンパス、 関西大学高槻ミュージズキャンパス	
防災ゲーム「クロスロード」を経験しよう	共同	2014年11月27日	大阪府立市岡高等学 校	防災授業実施協力、大阪府立市岡高等学 校	
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ	
(競争的資金)					
文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 課題番号: 24530436	研究代表者	2012~2017年	800 (5,000)	中小企業の事業承継に関する日仏共同研 究を通じた事業承継リスクマネジメント の提案	
以下、フリー記入					
(所属学会)					
日本リスクマネジメント学会 理事長					
フランス語圏国際中小企業学会 AIREPME (Association Internationale de Recherche en Entrepreneuriat et PME) 副会長 (日本代 表)					
日仏経営学会 常任理事					
ファミリービジネス学会 理事					
ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事					
事業承継学会					
日本商品学会					
日本経営学会					
日本中小企業学会					
情報経営学会					
リスク研究学会					

研 究 業 績

<p>(社会貢献活動)</p> <p>日本経済学会連合 評議員 経営学関連学会連絡協議会 委員 関西大学経済・政治研究所, 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班主幹 (2014年3月まで) 老朽化ブロック塀代替工法スーパーフェンス (施工: 港製器株式会社) 現地説明会協力, 2014年2月14日 東京都文京区 社会安全学部 外国人招聘研究者 レオ=ポール・ダナ教授 受入れ担当責任者 2014年4月. モンペリエ第一大学・経営学部・企業家活動研究所 Labex Entreprendre学術委員会委員 Université MontpellierI, Laboratoire d'Excellence Entreprendre (Labex Entreprendre), membre de comité scientifique フランス経営者健康問題支援機構 AMAROK L' Oservatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長 関西大学 体育会 準硬式野球部 顧問 関西大学 準登録学生団体 KUMC 顧問 関西大学 大学教員組合 委員長 通訳案内士・フランス語 (1996年合格・大阪府免許登録1139号) 通訳案内士・英語 (2011年合格・大阪府免許登録申請中)</p>
<p>(非常勤講師)</p> <p>九州大学 ビジネススクール 「経営リスクマネジメント」担当 大阪医科大学 看護学部「くらしと安全・危機管理」担当</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>(ラジオ番組作成協力) France Inter, Les Savanturiers par Fabienne Chauvière, samedi 25 janvier2014, Olivier Torrès enseignant chercheur http://www.franceinter.fr/emission-les-savanturiers-olivier-torres-enseignant-chercheur (作成協力)「防災や危機管理 関大で学んだよ 高槻・磐手小の児童180人」『産経新聞』2014年1月15日 (コメント)「加湿器火災で公表見送る アイリス社」『神戸新聞 NEXT』2014年1月28日 (コメント)「加湿器発火 2週間公表せず アイリスオーヤマ 2.7万台回収」『産経新聞』2014年1月28日 (作成協力)「4月15日 ニュージーランド大震災を体験した大学教授が来日講演」高槻市ホームページ, 2014年4月15日 http://www.city.takatsuki.osaka.jp/kakuka/seisakuzai/eigyouko/gyomuannai/machiphoto/h26/h26_04/14041501.html (作成協力)「自ら命守り 被災者支援を 高槻市, 小中3校で「防災」教育 大阪」, 『産経新聞』, 2014年4月16日 (作成協力)「自ら命守り 被災者支援を 高槻市, 小中3校で「防災」教育 大阪」, 『産経ニュース』, 2014年4月16日 http://www.sankei.com/region/news/140416/rgn1404160072-n1.html (作成協力)「防災研究委嘱校で特別授業 ニュージーランド地震の被災者語る」『広報たかつき』No.1310, 2014年4月25日, p.12 (作成協力)「「今も苦しむ人がある」ダナ教授, NZ地震を語る」共同通信, 2014年4月16日配信 (コメント)「STAP対立 泥沼に」, 『読売新聞』, 2014年5月9日 (コメント)「薄い 軽い 木の塀重宝」, 『朝日新聞』, 2014年5月24日 (コメント)「数字追求 認知するな 大阪府警, 過小報告」, 『朝日新聞』, 2014年7月31日 (コメント)北野智子「来年度 祝日授業か」『関大タイムズ』2014年10月6日 http://www.unn-news.com/ku-times/2014/10/06/1740/ (作成協力)「10月20日 奥坂小児童が関西大学で防災を学ぶ」高槻市ホームページ 2014年10月20日 http://www.city.takatsuki.osaka.jp/kakuka/seisakuzai/eigyouko/gyomuannai/machiphoto/h26/h26_10/141020.html (コメント)「朝日新聞社長辞任」『読売新聞』2014年11月15日 (作成協力)「防災副読本「たかつきの防災」を作成しました！」高槻市ホームページ 2014年12月26日 http://www.city.takatsuki.osaka.jp/hotnews/soumu141226.html 関西大学社会安全学部生と高槻市立磐手小学校生による合同授業, 2014年1月14日, 関西大学 高槻ミューズ・キャンパス 関西大学社会安全学部生と高槻市立奥坂小学校生による防災ゲーム「クロスロード」を使った合同演習, 2014年10月20日, 関西大学 高槻ミューズ・キャンパス 第4回大阪マラソン チャリティ・ランナー (フルマラソンの部), 社団法人 more treesへのチャリティ (フィリピン・キリノ州での植林事業とアグロフォレストリー支援), 2014年10月26日</p>

■ 川 口 寿 裕

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) Discrete Particle Simulation for High-Density Crowd	単著	2014年10月	Elsevier	Transport Research Procedia, Vol.2, P418-423 (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) Discrete Particle Simulation for High-Density Crowd 出口退出過程の粒子シミュレーション	単独 単独	2014年10月22日 2014年12月6日	 交通流数理研究会	 7th Conference on Pedestrian and Evacuation Dynamics '14、於オランダ 第20回交通流のシミュレーションシンポジウム、於名古屋大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2013~2015年	2,500 (3,800)	群集事故解析のための粒子モデルシミュレーション手法の開発とその検証
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本機械学会 粉体工学会 日本混相流学会、編集委員会委員、ICeM 委員 可視化情報学会 日本災害情報学会 交通工学会 日本建築学会				

研 究 業 績

■ 河 田 恵 昭

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書)				
「国難」となる複合災害と減災対策にげましよう	単著	2014年3月15日	ミネルヴァ書房	防災・減災のための社会安全学, P41-62
東日本大震災の教訓と南海トラフ地震に備えて	単著	2014年2月10日	共同通信社	P1-125
愚者の質問28	単著	2014年8月29日	日本環境センター	ブックレット 南海トラフ巨大地震と災害廃棄物処理, P1-22
	単著	2014年10月1日	C・C・C 富良野自然塾	季刊 富良野自然塾 カムイミントラ, Vol.28, P28-55
(学術論文)				
副読本「明日に生きる」を活用した防災教育	単著	2014年1月10日	兵庫県教育委員会	兵庫教育, 1月号, P8-11
大地震「最警戒地域」はどうなっている	単著	2014年1月10日	文藝春秋	文藝春秋, 2月号, 第92巻3号, P308-310
減災まちづくりを通じた地域コミュニティの再生	単著	2014年2月5日	不動産流通研究所	月刊 不動産流通, 2月号, No.381, P8-9
南海トラフ巨大地震が起これば大阪はどうなるのか	単著	2014年2月20日	大阪府保険医協会	大阪保険医雑誌, 2月号, No.569, P13-19
「減災レジリエンス」を進化させ、コミュニティ減災を実現する	単著	2014年3月1日	岩波書店	科学, 3月号, Vol.84, No.3, P247
復興まちづくりの現状と課題～欠けている“健康未来都市”という考え方～	単著	2014年3月1日	中央文化社	地方議会人, 3月号, P12-16
南海トラフ巨大地震が大阪の不動産・地価に及ぼす影響	単著	2014年3月1日	大阪府不動産鑑定士協会	鑑定おおさか, No.42, P2-7
津波、という脅威	単著	2014年3月1日	燃料電池普及促進協会	エネファーム, Vol.16, P8-9
首都直下・南海トラフ、短期的に連続発生も 最悪シナリオ見据え、対策検討を	単著	2014年3月3日	日本経済新聞社	日経グローバル, 3月号, No239, P27-29
教育こそが、何よりも高い防波堤になる(対談)	単著	2014年3月10日	光村図書	社会科通信, Nol.2, P1-9
東日本大震災の教訓と南海トラフ巨大地震等」への備え	単著	2014年3月20日	日本河川協会	河川, No812, P1-7
日頃からの防災・減災を考える	単著	2014年3月21日	神戸青年会議所	若い力, Vol.84, P9-10
防災と地域コミュニティ	単著	2014年3月30日	新建新聞社	新建ハウジング特別付録, P39
鼎談 首都圏 巨大災害から国民を守る	単著	2014年3月31日	科学研究費基盤研究(S) 報告書	防災・減災フォーラム in 東京, P44-50
災害時における大学の地域とのかかわり方	単著	2014年3月31日	京滋地区私立大学学長懇談会事務局	京滋地区私立大学学長懇談会報告集, 第36集, P5-27
米国ハリケーン・サンディからの教訓	単著	2014年4月1日	土木学会	土木学会誌, Vol.99, No.4, P30-31
巨大地震に備える—企業防衛・永続のために—	単著	2014年5月1日	大阪府経営合理化協会	合理化, No.513, P12-14
時代の証言 1995年 阪神・淡路大震災	単著	2014年5月1日	阪神高速道路公団	HANSHIN HIGHWAY, Vol.195, P9
南海トラフ巨大地震 最新想定	単著	2014年5月15日	ニュートンプレス	ニュートン別冊, 検討福島原発, P142-153
総論：自然災害の予測と防災・減災の取り組み～悠長に備えては国は亡びる～	単著	2014年8月10日	電気評論社	電気評論, 8月号, P7-13
巻頭言 魅力ある土木界	単著	2014年8月19日	オフィス・スペース	土木施工, Vol.55, No.9, P11
巻頭寄稿 巨大災害に備える—企業の防災対策	単著	2014年8月20日	日本物流新聞社	会社ガイド 2014-2015年版, P8-9
都市の地震災害を考える	単著	2014年8月31日	大阪ビルメンテナンス協会	OBM こみゆにけーしょんず, Vol.84, P7-12
リニア新幹線 巨大地震を忘れた国家の罪	単著	2014年9月1日	文藝春秋	文藝春秋 9月号, 第92巻11号, P176-185
21世紀と世界に向けた情報発信—阪神・淡路大震災の教訓を未来と世界へ—	単著	2014年9月1日	ひょうご科学技術協会	第一人者たちが語る科学技術の最前線, P120-130

社会安全学研究 第5号

わが国の防災法制度の根本的欠陥	単著	2014年9月1日	ひょうご震災記念21世紀研究機構	Hemi21 Opinion 研究レター, Vol.25, P1
阪神・淡路大震災20年を迎えて	単著	2014年10月1日	神戸国際観光コンベンション協会	KOBE CONVENTION, Vol.223, P3
自然災害の変遷と課題, そして今後の対応	単著	2014年11月15日	土木学会	土木学会誌, Vol.99, No.11, P46-49
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(海外発表・基調講演)				
Recovery From the Great East Japan Earthquake	単	2014年9月12日	世界銀行	第2回 経済と建設会議・ワシントン
Damage Estimation and Resilient Reconstruction Designed by Japanese Government	単	2014年9月11日	世界銀行	第2回 経済と建設会議・ワシントン
Storm Surges in Tokyo Bay	単	2014年9月15日	日米有識者会議	ニューヨーク大学, ニューヨーク
(招待講演)				
首都圏を災害に対して安全にする	単独	2014年1月9日	国土交通省	東京圏の都市鉄道のあり方に関する検討(国交省3号館4階特別会議室)
津波災害, 減災と復興	単独	2014年1月26日	岩手県	いわて復興塾(岩手大学)
高まる巨大災害リスク, 自治体・企業対応のあり方は]	単独	2014年1月28日	日本経済新聞社	日経グローバルセミナー1月定例会(東京都千代田区大手町JAビル4階)
災害に強い地域づくり	単独	2014年2月1日	兵庫県西播磨県民局	「ひょうご安全の日」西播磨地域のつどい(兵庫県たつの市総合文化会館アクアホール)
Japanese Efforts to Reduce Economic Damage After 3.11 Disaster in Japan	単独	2014年2月3日	世界銀行	防災ハイレベル・シンポ(東京都千代田区経団連会館)
「巨大防災に備えて」—企業防衛・永続のために—	単独	2014年2月4日	大阪府経営合理化協会	TEC2月例会(大阪市関西文化サロン桐の間)
国土強靱化基本計画について	単独	2014年2月7日	日本プロジェクト産業協議会	防災委員会(東京都中央区日本橋茅場町鉄鋼会館)
最近の災害対応の教訓と自治体首長の役割	単独	2014年2月13日	滋賀県	平成25年度市町長防災危機管理ラボ(滋賀県庁東館7階大会議室)
南海トラフ巨大地震が起これば大阪府域はどうなるのか被害想定とその対策について	単独	2014年2月14日	大阪市	大阪市議会議員勉強会(大阪府役所)
南海トラフ巨大地震の四国への影響と対策	単独	2014年2月17日	総務省四国行政評価支局	四国地区行政管理・評価セミナー(サンポートホール高松)
災害のメカニズム, 都市巨大災害	単独	2014年2月18日	内閣府	防災スペシャリスト養成研修(有明の丘基幹的広域防災拠点施設)
南海トラフ巨大地震の被害想定と今後の対策	単独	2014年2月25日	京都商工会議所	京都商工会議所常議員会(京都商工会議所)
災害のメカニズム, 都市巨大災害	単独	2014年2月27日	内閣府	防災スペシャリスト養成研修(有明の丘基幹的広域防災拠点施設)
震災時に放送局が果たすべき役割	単独	2014年2月28日	讀賣テレビ放送	近畿民放社長会(クラブ関西)
減災社会の構築に向けた危機管理	単独	2014年3月11日	広島県議会	広島県議会予算特別委員会(広島県議場)
和歌山県が今後取り組む防災対策を考える	単独	2014年3月14日	和歌山県議会	和歌山県党南海・南海地震等対策特別委員会(和歌山県議会会議室)
最悪の被災シナリオと企業のBCP	単独	2014年3月28日	京都府中小企業団体中央会	BCP(事業継続計画)策定支援セミナー(ホテルグランヴィア京都)
災害レジリエンス(国土強靱化)と国づくり	単独	2014年3月31日	NPO法人環境・エネルギー農林業ネットワーク	NPO法人環境・エネルギー農林業ネットワーク講演会(京都大学百周年時計台記念館)
都市災害の防災・減災～災害の進化と首都直下地震～	単独	2014年4月3日	公益財団法人 前田記念工学振興財団	九段懇話会(九段一條)
国難—巨大災害に備える	単独	2014年4月10日	水交倶楽部	第9回水交倶楽部懇談会(ホテルオークラ神戸)
「国難」災害を迎え撃つ!	単独	2014年4月11日	名古屋大学	名古屋大学防災アカデミー(名古屋大学減災館)
減災, 自然災害発生の可能性に対する社会インフラの構築	単独	2014年4月17日	日本アイ・ピー・エム	21世紀を考える会(ホテルルポール麹町)

研 究 業 績

奈良県における大規模災害と防災対策について	単独	2014年 4月18日	奈良県生活協同組合連合会	役職員研修(奈良商工会議所 AB会議室)
津波想定最新の情報とその影響・対策	単独	2014年 4月26日	近畿不動産鑑定士協会連合会	シンポジウム「津波から人命を守る」(兵庫県立美術館ミュージアムホール)
「都市災害」「世界の自然災害」	単独	2014年 4月29日	日本地球惑星科学連合・防災教育事務局	日本地球惑星科学連合大会2014年(神奈川県横浜市パシフィコ横浜)
「自然災害の姿を知る」「地域防災力の点検のしかた—ソフト面を中心に—」	単独	2014年 4月30日	一般財団法人日本経営協会	地方議会議員のための「地域防災力向上のための知識と対策」(大阪市西区大阪科学技術センタービル)
「命を守る防災—今にない何をすべきか」	単独	2014年 5月 9日	大阪府教育センター	平成26年度防災教育研修(大阪市住吉区大阪府教育センター)
地域の中の減災教育	単独	2014年 5月11日	公益社団法人兵庫県看護協会	平成26年度「看護の日週間イベント」特別講演(神戸市中央区兵庫県看護協会会館)
巨大災害を迎え撃つ～減災レジリエンス～	単独	2014年 5月21日	サイバー適塾運営協議会	平成26年度サイバー適塾「創造力養成ワークショップ」(大阪市北区中之島センタービル28階関西経済同友会会議室)
南海トラフ巨大地震と大阪・関西の防災について	単独	2014年 5月22日	大阪市街地再開発促進協議会	大阪市街地再開発促進協議会 5月例会(大阪市立総合生涯学習センター第二研修室)
大災害時の製造業の事業継続計画(BCP)を考える～南海トラフ巨大地震を事例として～	単独	2014年 6月 4日	日本金属熱処理工業会	平成26年度第56回定時総会講演(スイスホテル南海大阪)
地域防災と災害軽減システム 津波災害について	単独	2014年 6月 5日	近畿建設協会	平成26年度 JICA 研修(神戸市 JICA 関西)
防災・減災の知恵と明日への備え	単独	2014年 6月 6日	六甲アイランドまちかどネット・CITY自治会・地域振興会	防災セミナー in 六甲アイランド(神戸市オルビスホール)
南海トラフ巨大地震が起これば大阪はどうなるのか	単独	2014年 6月 9日	大阪労災病院	平成26年度大労クラブ前期総会(堺市大阪労災病院管理棟 3階大ホール)
予想される巨大地震に備えて	単独	2014年 6月17日	(NPO 法人) LSO	第157回市民フォーラム第1回「震災対策技術展」(大阪市北区コングレコンベンションセンター)
南海トラフ巨大地震が起これば大阪はどうなるのか	単独	2014年 6月17日	震災対策技術展事務局	第1回「震災対策技術展大阪」(大阪市中心区グランフロント大阪)
防災・減災と放送の役割	単独	2014年 6月19日	OSSCN 協議会事務局	災害時における防災・減災研究会(神戸市人と防災未来センタープレザンルーム)
国難と減災レジリエンス	単独	2014年 7月 1日	内閣官房	ナショナル・レジリエンス懇談会(霞ヶ関合同庁舎第4号館)
身近で起こる災害の危機	単独	2014年 7月 3日	神戸市	神戸市老眼大学(神戸市神戸文化ホール大ホール)
「国難」研究の最前線—南海トラフ巨大地震と首都直下地震の被害の定量化—	単独	2014年 7月 4日	京都大学	京都大学未来フォーラム(京都大学百年時計台記念館)
防災総論Ⅱ	単独	2014年 7月 5日	博多市	博多あん(安全)・あん(安心)塾(福岡市よみうりプラザ1階)
Tsunami Countermeasures after 2011 East Japan Earthquake	単独	2014年 7月 9日	日本外国特派員協会	防潮堤のパネルディスカッション(東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館20階)
予測される南海トラフ地震の規模と高槻の防災について	単独	2014年 7月13日	関西大学校友会高槻島本支部	平成26年度総会(高槻市たかつき京都ホテル)
南海トラフ巨大地震に伴う大規模災害について	単独	2014年 7月17日	(NPO 法人) 環境防災総合政策研究機構	CeMI 公開フォーラム(東京都スクワール麹町 5階芙蓉)
減災レジリエンスに挑戦する	単独	2014年 7月18日	国際航業株式会社	技術シンポジウム(東京都府中市クロスウェーブ府中)
南海トラフ巨大地震にどう備えるか～県民の心がまえと減災～	単独	2014年 7月21日	香川県	県民防災週間2014シンポジウム(香川県高松市社会福祉センター)
災害情報を生かす	単独	2014年 7月27日	春日井市	春日井安全アカデミー(愛知県春日井市役所)
被災地東北の復興と新たな日本の創生に向けて—この3年間の取組みと今後の課題	単独	2014年 8月 8日	日本私立大学団体連合会	東日本大震災復興シンポジウム2014(東京都千代田区九段北アルカディア市ヶ谷)

南海トラフ巨大地震が起これば、近畿地方はどうなるのか？	単独	2014年8月28日	(公財)近畿警察官友の会	夏季教養講座(大阪府中央区大手前ホテルプリムローズ大阪)
南海トラフ巨大地震が起これば大阪はどうなるのか	単独	2014年8月29日	全国市有物件災害共済会	95市の財産管理担当課長対象講演会(大阪市ヴィアール大阪)
「高まる巨大災害リスク、企業の対応は」～南海トラフ巨大地震と首都直下地震に備えた企業防災・減災を考える～	単独	2014年9月3日	浜銀総合研究所	浜銀総合研究所月例講演会(横浜市崎陽軒本店5階「マンダリン」)
災害多発時代の安全・安心を実現する	単独	2014年9月4日	JR西日本安心社会財団	安全セミナー「災害と危機」(尼崎市あましんアルカイックホール・オクト)
南海トラフ巨大地震によって丹波地域は、支援される地域か、支援される地域になるのか？	単独	2014年9月6日	丹波市防災協会	防災講演会(丹波市柏原町丹波の森公園)
最近の災害に想うこと～日本と米国で～	単独	2014年9月19日	日本プロジェクト産業協議会	JAPIC防災委員会(東京都鉄鋼会館801号室)
首都直下地震に想定される被害とそれに備える自助・共助の取組み	単独	2014年9月20日	横浜市保土ヶ谷区	自助と共助による20万区民の減災運動推進大会(横浜市保土ヶ谷公会堂)
三大都市圏のゼロメートル地帯の浸水危険性と減災対策	単独	2014年9月24日	日本再生有志の会	講演会(東京都霞が関ビル35階東海大学校友会館霞の間)
南海トラフ地震対策	単独	2014年9月27日	兵庫県広域防災センター	兵庫県防災リーダー研修開校式(兵庫県三木市兵庫県広域防災センター)
災害復興と公共政策	単独	2014年9月27日	日本公共政策学会	日本公共政策学会関西支部(高槻ミュージャンパス)
災害とは、減災とは、備えとは	単独	2014年9月28日	神戸青年会議所	フォーラム「これからの防災・減災について」(神戸市農芸会館11階大ホール)
巨大地震に対する東京の防災・危機管理	単独	2014年10月2日	NTTファシリテーズ総合研究所	EHS&S研究センターセミナー2014(東京都千代田区秋葉原UDX南ウイング6FUDX CONFERENCE A+B)
油断大敵：静岡で起こる災害	単独	2014年10月4日	関西大学校友会静岡支部	関関同立交流会記念講演「静岡と防災」(静岡市葵区紺屋町「中島屋ランドホテル」)
巨大地震の発生に向けて	単独	2014年10月10日	日立製作所	日立グループリスク対策全体会議(東京都千代田区神田淡路町2-29)
南海トラフ巨大地震による大阪の被害	単独	2014年10月15日	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	リスクマネジメントセミナー(大阪府中央区損保ジャパン日本興亜本町南ビル)
災害の恐ろしさ	単独	2014年10月16日	神戸市	こうべまちづくり学校(神戸市中央区元町通こうべまちづくり会館)
南海トラフ地震に備えて地域・学校・行政の連携～中学生とともに作る地域版避難所運営マニュアル～	単独	2014年10月17日	高知市立旭中学校	防災フェア「学ぼう災」(高知市口細山164-14)
国難と言うべき巨大災害への危機管理	単独	2014年10月21日	国際危機管理学会	国際危機管理学会2014 in NIIGATA(新潟県長岡市朱鷺メッセ)
一般防災の視点から原子力防災への助言	単独	2014年10月31日	原子力安全推進協会	緊急時対応に係るセミナーと講演会(東京都港区三田原子力安全推進協会13階第A.B.C会議室)
「都市防災」「津波災害・高潮災害」	単独	2014年11月1日	防災士研修センター	防災士研修講座(大阪府浪速区アルフィック大阪)
防災体制について	単独	2014年11月2日	四日市市	四日市市防災大学(三重県四日市市本町プラザ1Fホール)
南海トラフ巨大地震における此花区の被害想定について	単独	2014年11月5日	此花消防署	防災講演会(大阪府此花区クレオ大阪西)
自然災害に対する都市の脆弱性	単独	2014年11月6日	東京海上研究所	2014年度自然災害リスクセミナー(東京都千代田区丸の内東京海上日動ビル新館15階大会議室)
災害と共生できるまちを創る	単独	2014年11月7日	アジア太平洋研究所	うめきた研究会第4階(大阪府北区グランフロント大阪北館7階)
南海トラフ巨大地震による被害想定と心構え	単独	2014年11月9日	尼崎市戸ノ内社会福祉協議会	平成26年度防災講演会(兵庫県尼崎市戸ノ内園田東小学校体育館)
命を守り、絆を育む防災教育の新たな展開	単独	2014年11月11日	兵庫県教育委員会	震災20周年防災教育フォーラム(神戸市中央区楠町神戸文化ホール)

研究業績

災害時における議会や議員の対応について	単独	2014年11月12日	岩出市議会	岩出市議会講演（和歌山県岩出市市役所）
首都圏東京で発生が危惧される巨大災害～地震	単独	2014年11月13日	国土交通省関東地方整備局	平成26年度建設技術フォーラム（埼玉県さいたま市さいたま新都心合同庁舎1号館）
やがて来る地震災害とその対策	単独	2014年11月15日	和歌山県薬剤師会	第17回近畿薬剤師学術大会（和歌山県民文化会館）
必ず来る！南海トラフ巨大地震 その時、近畿地方はどうなる～途方にくれないために今できること～	単独	2014年11月20日	京都府計量協会	平成26年度近畿計量大会（京都府民ホール「アルティール」）
被災シナリオに応じた効率的な応急復旧活動のあり方	単独	2014年11月20日	国土交通省国土交通大学校	国土交通大学校研修（東京都小平市喜平町2-2-1）
大阪府とその周辺で心配な災害とBCP	単独	2014年11月25日	(株)ダイフク	(株)ダイフク社員向けBCPセミナー（大阪市西淀川区御幣島3-2-11ダイフク大阪本社）
これからの大阪の防災・減災を考える～南海地震に備えて～	単独	2014年11月26日	大阪いづみ市民生活共同組合	大阪府立大学主公開講座「消費者育成セミナー」（堺市大阪府立大学B3棟118教室）
これからの企業を襲う天変、地変とレジリエント対策	単独	2014年12月5日	東洋経済新報社	東洋経済経営戦略フォーラム（東京都千代田区ベルサール神田）
巨大地震・巨大風水害の発生に備えて	単独	2014年12月5日	株式会社パスコ	パスコ大学（東京都目黒区東山1-1-2東山ビルパスコ本社）
災害発生のおしるしを学び危機管理の手法を身につける	単独	2014年12月6日	奈良県	平成26年度自主防犯・防災リーダー研修（奈良県大和高田市奈良県産業会館）
「都市災害」「津波災害・高潮災害」	単独	2014年12月7日	防災士研修センター	防災士研修講座（大阪府門真市保健福祉センター）
関西エリアの巨大地震リスク、津波リスク	単独	2014年12月8日	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	企業RMセミナー（大阪府大阪市中央区損害保険ジャパン日本興亜(株)大阪ビル12F大会議室）
防災・減災を推し進める意義	単独	2014年12月14日	サンテレビジョン	サンテレビジョン開局45周年防災セミナー（神戸国際会議場国際会議室301号）
首都圏で心配な災害とBCP	単独	2014年12月17日	(株)ダイフク	(株)ダイフク社員向けBCPセミナー（東京都港区芝2-14-5ダイフク東京本社）
吹田市に住んでいて災害に遭遇しないために	単独	2014年12月18日	吹田市	第43回生涯学習吹田市民大学（吹田市千里市民センター大ホール）
防災・減災社会の実現に向けて	単独	2014年12月20日	神戸市須磨区	震災20周年須磨区防災講演（神戸市須磨区役所4階多目的会議室）
生命をまもるために	単独	2014年12月21日	産経新聞社	大阪市中央区高麗橋朝日生命ホール
災害多発・激化時代の減災社会への貢献～中学生・高校生の防災リーダーへの期待～	単独	2014年12月25日	国立淡路青少年交流センター	全国ジュニアリーダー育成合宿（神戸市中央区人と防災未来センター）
災害時における医療活動計画	単独	2014年12月26日	兵庫県立総合衛生学院	県立総合衛生学院講演（兵庫県神戸市長田区県立総合衛生学院）
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費基盤研究 (S)	代表	2012～2016	24,400 (126,500)	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策
科学研究費挑戦的萌芽研究	代表	2014～2016	2,000 (3,000)	ネット集合知を用いて評価できる定性的災害被害の定量化
科学研究費基盤研究 (B)	分担	2013～2015	400 (13,600)	災害時の広域連携支援の役割の考察
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本災害情報学会（元会長）理事 日本自然災害学会（元会長）理事、評議員 土木学会フェロー 日本学術会議連携委員 アメリカ土木学会（ASCE）会員、アメリカ地球物理学連合（AGU）、国際水理学会（IAHR）会員				

(社会貢献活動)

NPO 法人 大規模災害対策研究機構, 理事長, 継続
 NPO 法人 環境防災総合政策研究機構, 理事長, 継続
 NPO 法人 人・家・街 安全支援機構, 理事長, 継続
 土木学会, 調査研究部門/原子力土木委員会/J232津波評価部会 (f II) 委員, 継続
 土木学会, 調査研究部門/構造工学委員会/鉄道工学連絡小委員会/委員, 継続
 土木学会, 企画部門/論説委員会委員, 継続
 土木学会, 調査研究部門/海岸工学委員会相談役, 継続
 内閣府, 中央防災会議専門委員, 継続
 内閣府, 中央防災会議防災対策実行会議委員, 継続
 内閣府, 情報セキュリティ政策会議技術戦略専門委員会委員
 内閣府, 産学官連携功労者表彰選考委員
 文部科学省, 地震調査研究推進本部政策委員会委員, 継続
 国土交通省, 南海トラフ巨大地震対策計画 近畿地方地域対策計画策定連絡会アドバイザー, 継続
 国土交通省, 大規模地震・津波対策アドバイザー会議委員, 継続
 国土交通省, 国土審議会特別委員
 国土交通省, 新たなステージに対応した防災・減災対策策定に関する有識者懇談会委員
 高知県, 高知県南海トラフ地震における応急対策のあり方に関する懇談会委員長, 継続
 高知県, 石油基地等地震・津波対策検討準備会委員長, 継続
 高知県, 南海地震対策推進本部アドバイザー, 継続
 三重県, 三重県防災会議防災・減災対策検討会議委員長, 継続
 三重県, 三重県政策アドバイザー
 和歌山県, 和歌山県津波から逃げ切る支援専門家会議委員長
 和歌山県, 和歌山県地震・津波被害想定検討委員会委員長
 新潟県, 防災立県戦略, 顧問, 継続
 新潟県, 震災復興推進アドバイザー
 新潟県, 新潟県中越地震震災復興検証調査会顧問, 継続
 新潟県, 地域復興支援事業選考評価委員, 継続
 岡山県, 岡山県地震・津波対策専門委員会委員長
 岡山県, 岡山沿岸海岸保全基本計画 (改訂) 検討委員会委員, 継続
 兵庫県, 阪神・淡路大震災記念, 人と防災未来センター長, 継続
 兵庫県, ひょうご安全の日推進委員会, 委員, 企画委員長, 継続
 兵庫県, 兵庫県防災会議地震対策計画専門委員会, 副委員長, 継続
 兵庫県, 災害救急医療システム運営協議会委員, 継続
 大阪府, 大阪府防災会議委員, 継続
 大阪市, 大阪港地震・津波対策連絡会議, アドバイザー, 継続
 堺市, 堺市防災会議委員, 継続
 奈良県, 奈良県地域防災計画検討委員会委員長, 継続
 鳥取県, 鳥取県政アドバイザースタッフ, 継続
 兵庫県立大学, 特任教授, 継続
 関西広域連合, 関西圏域の展望研究会委員
 関西広域連合, 関西広域防災計画策定委員会「地震・津波及び風水害対策専門部会」委員長, 継続
 全国知事会地方自治先進政策センター, 頭脳センター専門委員, 継続
 (独) 海洋研究開発機構機関評価会委員
 (独) 日本学術振興会平成26年度博士課程教育リーディングプログラム委員会専門委員
 (財) 防災研究協会, 非常勤研究員, 継続
 (財) 防災研究協会, 業務運営委員, 継続
 (財) 交流協会, 共同研究事業外部審査委員, 継続
 (財) 新潟県中越地震復興基金, 地域復興支援事業 (地域貢献型中越復興研究支援) 選考評価委員, 継続
 (社) 日本プロジェクト産業協議会, 日本創成委員会/特別委員会 (緊急タスクフォース), 副委員長, 継続
 (公益) 関西エネルギー・リサイクル科学振興財団選考委員
 (公益) ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究調査本部研究会委員, 継続
 (公益) ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長
 (その他業績として記載を希望する事項)
 2014年 兵庫県県勢高揚功労表彰

研究業績

■ 高鳥毛 敏 雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 日本公共衛生制度的健全と完善（中国語） （日本の公衆衛生制度）	共著	2014年9月	知況出版社	日本如何应对超高齢社会－医療保健・社会保障対策 (How to challenge the super aging society) 編者 Zhao Lin Tatara Kozo Gui Shixus, 第三章 日本の公衆衛生制度, 40-79.
(学術論文) イギリスにおける公衆衛生の歩みと新たな展開	単著	2014年1月	医学書院	公衆衛生, Vol.78, No.1, 6-13.
大阪公衆衛生協会の公益法人としての新たな旅立ち	単著	2014年1月	大阪公衆衛生協会	大阪公衆衛生, 85, 3-4.
(その他、論考・研究資料等) 保健師活動の基礎	単著	2014年1月		第46回全国保健師活動研究集会 報告書, 46-48.
保健所の今後を考える	単著	2014年1月		第46回全国保健師活動研究集会 報告書, 202-205.
現代社会における健康リスク	単著	2014年7月8日	少年新聞社	高校保健ニュース第502号付録, 4-5.
非感染性疾患（NCDs）とは	単著	2014年8月8日	少年新聞社	高校保健ニュース第504号付録, 4-5.
高校年齢から問題となる結核感染症のリスク	単著	2014年9月8日	少年新聞社	高校保健ニュース第506号付録, 4-5.
身体活動と炎症性腸疾患発症のリスク： Nurses' Health Study コホートにおける前向き研究 Physical activity and risk of inflammatory bowel disease: prospective study from the Nurses' Health Study cohorts BMJ. 2013 Nov 14; 347: f6633. doi: 10.1136/bmj.f6633.	翻訳監修	2013年1月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0003.html
黒人と白人の高齢者における認知症発症に及ぼす社会経済的格差の影響：前向き研究 Effect of socioeconomic disparities on incidence of dementia among biracial older adults: prospective study BMJ 2013; 347: f7051 doi: 10.1136/bmj.f7051	翻訳監修	2013年2月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0006.html
セメント固定および非セメント固定の人工股関節全置換術の再置換率の検討：北欧4カ国の登録データベースに基づく研究 Failure rate of cemented and uncemented total hip replacements: register study of combined Nordic database of four nations BMJ. 2014 Jan 13; 348: f7592. doi: 10.1136/bmj.f7592.	翻訳監修	2013年3月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0009.html
新たな診断検査を使った慢性関節リウマチの再評価 Rheumatoid Arthritis in the Women's Health Initiative: Methods and Baseline Evaluation. Am J Epidemiol. 2014 Feb 24.	翻訳監修	2013年4月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0011.html
パーキンソン病患者の骨の健康度：系統的レビューとメタ解析から Bone health in Parkinson's disease: a systematic review and meta-analysis J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2014 Mar 21.	翻訳監修	2013年5月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0014.html

パーキンソン病におけるドパミン調節異常症候群：治療および長期的な転帰に対する臨床的ならびに神経心理学的な特性の解明	翻訳監修	2013年6月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0017.html
人工股関節全置換術後の合併症リスクと外科医の年間手術症例数との関係：マッチした傾向スコアコホート研究による検討 Relation between surgeon volume and risk of complications after total hip arthroplasty: propensity score matched cohort study BMJ. 2014 May 23; 348: g3284. doi: 10.1136/bmj.g3284.	翻訳監修	2013年7月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0020.html
パーキンソン病患者に対する作業療法の有効性に関する検討：無作為化対照試験 Efficacy of occupational therapy for patients with Parkinson's disease: a randomised controlled trial Lancet Neurol. 2014 Jun; 13 (6) :557-66.	翻訳監修	2013年8月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0023.html
アルツハイマー病の一次予防の可能性：地域集団ベースのデータの解析 Potential for primary prevention of Alzheimer's disease: an analysis of population-based data Lancet Neurol. 2014 Aug; 13 (8): 788-94. doi: 10.1016/S1474-4422 (14) 70136-X.	翻訳監修	2013年9月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0026.html
エボラ出血熱：国際社会の一致団結できない活動がもたらした失敗 Ebola: a failure of international collective action Lancet. 2014 Aug 23; 384 (9944): 637.	翻訳監修	2013年10月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0029.html
小児での結核菌感染に対するBCGワクチンの効果：システマティックレビューおよびメタアナリシスによる再評価 Effect of BCG vaccination against Mycobacterium tuberculosis infection in children: systematic review and meta-analysis BMJ. 2014 Aug 5; 349: g4643. doi: 10.1136/bmj.g4643.	翻訳監修	2013年11月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0032.html
ベンゾジアゼピン使用とアルツハイマー病リスク：ケースコントロール研究 Benzodiazepine use and risk of Alzheimer's disease: case-control study BMJ. 2014 Sep 9; 349: g5205. doi: 10.1136/bmj.g5205.	翻訳監修	2013年12月	大阪難病研究財団	難病情報データベース 難病 Update http://www.nanbyo.or.jp/update/bunken/2014/bunken_0035.html
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表)				
福島第1原発事故警戒区域避難者に対する健康生活支援の実践とその普遍化	単独	2014年3月17日	日本公衆衛生学会	東日本大震災復興専門委員会、東北大学医学部良陵会館
イギリスの公衆衛生改革と結核対策の推進体制の課題	単独	2014年5月10日	日本結核病学会	第89回日本結核病学会総会（岐阜）
社会医学の視点からみる日英の公衆衛生の特徴の分析	単独	2014年7月13日	日本社会医学会	第55回日本社会医学会総会、名古屋大学、IB電子情報館
地域の医療機関連携に関する地域の医師の認識と意識の現状	共同	2014年11月6日	日本公衆衛生学会	第73回日本公衆衛生学会総会、栃木県総合文化センター、宇都宮市
地域の医療機関連携に関する地域の医師の認識と意識の現状—大阪府医師会・会員調査から—	共同	2014年11月9日	大阪府医師会	大阪府医学会総会、大阪府医師会館
(招待講演)				
イギリスの公衆衛生改革の教訓から	単独	2014年2月28日	大阪公衆衛生協会	大阪府公衆衛生協会保健計画部会・保健事業発表会
看護政策論	単独	2014年5月31日	関西看護医療大学	関西看護医療大学、兵庫県あわじ市

研究業績

Policy and Programs for infectious disease control in Japan	単独	2014年7月24日	京都大学大学院医学研究科	京都大学大学院医学研究科国際保健学講座社会疫学分野
社会のグローバル化と健康リスク	単独	2014年7月3日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部連続セミナー安全・安心社会と社会安全学, 関西大学東京センター
シンポジウム基調講演 長寿社会における公衆衛生の原点—社会医学の視点から—	単独	2014年7月13日	日本社会医学会	第55回日本社会医学会総会, 名古屋大学, IB電子情報館
公衆衛生マインドの伝承 保健師活動への期待	単独	2014年8月30日	名寄市立大学	名寄市立大学
健康のリスクと公衆衛生事業—地域力の向上と健康リスク低減—	単独	2014年9月12日	三重県国民健康保険団体連合会	三重県自治会館
食品衛生および食品安全の社会システム	単独	2014年11月12日	川西市教育委員会	アステ川西アステホール
現代社会における食中毒の最新情報	単独	2014年11月19日	川西市教育委員会	アステ川西アステホール
現代社会における食と健康問題	単独	2014年11月26日	川西市教育委員会	アステ川西アステホール
国際健康政策学	単独	2014年12月13日, 20日, 27日	大阪大学大学院医学系研究科	大阪大学中之島センター
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 基盤研究 (S)	分担	2010～2014	498 (1500)	食品リスク認知とリスクコミュニケーション, 食農倫理とプロフェッションの確立
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本公衆衛生学会・評議員 日本結核病学会・評議員 日本社会医学会・副理事長				
(社会貢献活動) 大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師 京都大学大学院医学研究科・非常勤講師 放送大学・客員教授 (～2014年9月) 関西看護大学・非常勤講師 大阪府医師会調査委員会・委員 大阪府教育委員会事務局・学校保健技師 大阪府立学校職員健康審査会・常任委員 大阪府立学校結核対策審議会・委員 大阪府結核対策審議会・委員 大阪市結核対策評価委員会・委員 ストップ結核パートナーシップ日本・理事 東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員 公益法人大阪公衆衛生協会・専務理事 公益法人大阪公衆衛生協会・保健計画部会・会長 豊中市民病院運営審議会・会長 枚方市健康増進計画審議会・会長 高槻市保健医療審議会・委員 健康おおさか21推進府民会議・委員 健康おおさか21推進府民会議予防対策検討部会・委員長 雑誌「公衆衛生」・編集委員 堺市健康増進計画懇話会・委員 伊丹市福祉対策審議会・委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 大阪府医師会・感謝状 (大阪府医師会調査委員会の委員として長年の貢献に対して)				

■ 高野 一彦

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 防災・減災のための社会安全学	分担執筆	2014年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編. 私は第7章「防災と経営者の責任—企業の危機管理体制の整備とBCP策定を中心として—」(pp.115-140)を担当.
(学術論文) 東日本大震災における企業の危機管理・BCPの調査・研究	共著	2014年3月	日本経営倫理学会	高野一彦・蟻生俊夫・桑山三恵子・佐伯隆博・杉田純一・星野邦夫・山中裕著, 日本経営倫理学会誌第21号, pp.87-102 <査読有>
わが国のプライバシー・個人情報保護法制の将来像の探求—「EC プライバシー研究報告」におけるわが国の個人情報保護法制の「有効性」に関する評価を端緒として—	単著	2014年3月	関西大学経済・政治研究所	関西大学経済・政治研究所研究双書第159冊, pp.119-152
(その他, 論考・研究資料等) 情報法の国際的動向とコンプライアンス—情報通信ネットワークの最新動向と課題—	単著	2014年9月	日本データ通信協会	日本データ通信199号, pp.2-11
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) ビッグデータ問題とプライバシー保護	単独	2014年10月18日	日本経営倫理学会	日本経営倫理学会研究交流例会(於 経営倫理実践研究センター会議室)
わが国のプライバシー・個人情報保護法制の将来像の探究	単独	2014年2月28日	日本リスクマネジメント学会・関西大学経済・政治研究所	日本リスクマネジメント学会・関西大学経済・政治研究所共催, 公開シンポジウム(於 日本学術会議講堂)
(招待講演) インターネットと人権	単独	2014年12月10日	西日本旅客鉄道	新幹線管理本部「人権啓発講演会」(於 同社新大阪社屋大会議室)
リスク・アセスメント, プライバシー・個人情報保護	単独	2014年11月22日	アサヒグループホールディングス	アサヒグループSLP研修(於 同社本社会議室)
インターネット社会における情報法コンプライアンス	単独	2014年11月18日	九州生産性本部	九州監査業務研究会・11月例会(於 電気ビル共創館大会議室)
企業における個人情報の利用と保護	単独	2014年10月20日	関西大学 社会安全学部	関西大学 社会安全学部主催 第5回東京シンポジウム(於 日経ホール)
グローバル企業の情報法コンプライアンス	単独	2014年10月14日	日本データ通信協会	個人情報保護マネジメントシステム研究会(於 ベルサール神保町)
グローバル企業の情報コンプライアンス—パーソナルデータ・営業秘密の利活用と保護を中心として—	単独	2014年9月1日	富士フイルム	富士フイルムグループ役員研修会(於 同社本大会議室)
インターネット社会における企業コンプライアンス	単独	2014年7月24日	関西大学 社会安全学部	関西大学社会安全学部主催 東京連続セミナー(於 関西大学東京センター)
コンプライアンス経営の重要性—グローバル企業における企業不祥事防止と危機管理—	単独	2014年7月4日	株式会社ローソン	グループ役員コンプライアンス研修(於 同社本社会議室)
情報通信ネットワークの最新動向と課題	単独	2014年6月5日	日本データ通信協会	第31回日本データ通信協会ICTセミナー(於, OBPクリスタルタワー講堂)
ビッグデータ問題とプライバシー保護の国際的整合	単独	2014年6月4日	関西大学 社会安全学部	社会安全学セミナー(於 関西大学ミューズキャンパス)
ケースメソッドの基本	単独	2014年5月30日	住宅金融支援機構	コンプライアンスミーティング進行役研修(於, 同社本店会議室)
大規模災害におけるリスクと企業の危機管理体制—BCPの策定と見直しに関する監査の留意点—	単独	2014年5月16日及び19日	日本監査役協会関西支部	リスクマネジメント講座(於, 監査役協会関西支部)
クライシス・シミュレーション・トレーニング	単独	2014年4月17日及び18日	グンゼ	部門CSR責任者会議(於, グンゼ豊中寮)

研 究 業 績

情報法コンプライアンスと企業力	単独	2014年3月5日	日本経営倫理士協会	日本経営倫理士協会第5回シンポジウム (於 関西大学東京センター)
企業の社会的責任	単独	2014年1月28日	大阪府工業会	経営マネジメントビジネススクール (於、 同会会議室)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省 科学研究費助成事業 (学術研究 助成基金助成金) 基盤研究 (C)	代表	平成23~27年度	1,100 (4,100)	「情報法制と企業のコンプライアンスに関 する比較研究」
関西大学教育研究高度化促進費	代表	平成26~27年度	1,165 (2,616)	「わが国の新たな情報法制の定立のための 比較法研究と理解促進の取組」
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本経営倫理学会 理事 情報ネットワーク法学会 監事 日本リスクマネジメント学会 評議員 ソーシャルリスクマネジメント学会 理事 日本リスク研究学会 会員 企業法学会 会員 法とコンピュータ学会 会員 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員				
(社会貢献活動)				
堀部政男情報法研究会 研究代表・理事 2010年4月~現在 経営倫理実践研究センター 上席研究員 2012年3月~現在 日本経営倫理士協会 理事 2013年8月~現在 関西電力 経営監査委員会 社外委員 2014年7月~現在 一般財団法人 ベネッセこども基金 評議員 2014年11月~現在 高槻市消費者教育推進プログラム関係機関連絡会議 委員長 2014年10月~現在				
(その他業績として記載を希望する事項)				
名古屋商科大学大学院 (MBA), 『ティーチャング・アワード2013』受賞 企業のCSRレポートの第三者評価 「関西電力グループレポート2014のCSRに関するページを読んで」, 所収「関西電力グループレポート2013」2013年, p119. 「ダンゼグループCSR報告書2014 第三者意見」, 所収「ダンゼグループCSR報告書2014」2014年, p31. 「第三者意見」, 所収「ハウス食品グループCSRレポート2014」2014年, p26.				

■ 高橋 智幸

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) Tsunami Events and Lessons Learned Environmental and Societal Significance 巨大津波に強い社会基盤の構築に向けて	編集・共著 共著	2014年1月 2014年3月	Springer ミネルバ書房	Editors: Y. A. Kontar, V. Santiago-Fandiño, T. Takahashi, 467p. 防災・減災のための社会安全学, 関西大学社会安全学部編, pp.22-40
(学術論文) Numerical simulation of coastal sediment transport by the 2011 Tohoku-oki earthquake tsunami	共著	2014年1月	Springer	Tsunami Events and Lessons Learned, Advances in Natural and Technological Hazards Research Volume 35, pp.99-112, Daisuke Sugawara and Tomoyuki Takahashi, 査読有
Sediment transport due to the 2011 Tohoku-oki tsunami at Sendai: Results from numerical modeling	共著	2014年5月	Elsevier	Marine Geology, Online publication date: 1-May-2014, Daisuke Sugawara, Tomoyuki Takahashi, Fumihiko Imamura, 査読有
複雑な実港湾地形を対象とした津波による土砂移動特性の考察	共著	2014年6月	土木学会	土木学会論文集B3(海洋開発), 森下祐, 高橋智幸, Vol.70, No.2 pp.I_594-I_599, 査読有
南海トラフにおける多数津波シナリオの設定方法とその応用	共著	2014年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 門廻充侍, 高橋智幸, Vol.70, No.2 pp.I_351-I_355, 査読有
和歌山県沿岸に設置した海洋レーダによる近地津波および遠地津波の観測性能に関する数値実験	共著	2014年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 岡本萌, 門廻充侍, 高橋智幸, 日向博文, Vol.70, No.2 pp.I_356-I_360, 査読有
2011年東北地方太平洋沖地震津波来襲時の気仙沼湾を対象とした津波移動床モデルの再現性向上	共著	2014年11月	土木学会	土木学会論文集B2(海岸工学), 森下祐, 高橋智幸, Vol.70, No.2 pp.I_491-I_495, 査読有
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Numerical experiment on far field and near field tsunamis concerning Oceanographic Radar observation	共同	2014年2月27日	Association for the Sciences of Limnology and Oceanography他	2014 Ocean Sciences Meeting, Honolulu, USA, Megumi Okamoto, Shuji Seto, Tomoyuki Takahashi and Hirohumi Hinata
Influence of integration time on the accuracy of estimation of tsunami initial sea surface elevation based on inversion using oceanographic radar	共同	2014年2月27日	Association for the Sciences of Limnology and Oceanography他	2014 Ocean Sciences Meeting, Honolulu, USA, Ryotaro Fuji, Hirohumi Hinata, Satoshi Fujii, Tomoyuki Takahashi
Upgrading Tsunami Warning by Using the GPS-Mounted Buoys in the Nankai Trough	共同	2014年2月28日	Association for the Sciences of Limnology and Oceanography他	2014 Ocean Sciences Meeting, Honolulu, USA, Shuji Seto, Tomoyuki Takahashi and Yoshinari Hayashi
Numerical modeling on tsunami inundation with detailed urban model and its visualization by using AR technology	共同	2014年2月28日	Association for the Sciences of Limnology and Oceanography他	2014 Ocean Sciences Meeting, Honolulu, USA, Chisa Kameda and Tomoyuki Takahashi
土砂移動数値計算を用いた仙台平野における津波堆積物の再現性に関する検討	共同	2014年3月8日	土木学会東北支部	土木学会東北支部技術研究発表会, 八戸工業大学, 橋本康平, 後藤和久, 菅原大助, 今村文彦, 高橋智幸
天然ゼオライト混和モルタルの電気抵抗率に及ぼす配合要因	共同	2014年3月8日	土木学会東北支部	土木学会東北支部技術研究発表会, 八戸工業大学, 大高理美, 徳重英信, 山森滂夕, 高橋智幸, 鶴田浩章
短波海洋レーダによる船舶の測距測角結果	共同	2014年3月19日	電子情報通信学会	2014年総合大会, 新潟大学, 鈴木信弘, 若山俊夫, 小林立範, 中西孝行, 高橋智幸, 藤井智史, 花土弘, 日向博文

研究業績

2011 Tohoku Tsunami Runup Hydrographs, Overland Flow Velocities and Ship Tracks Based on Video and LiDAR Measurements	共同	2014年7月31日	Asia Oceania Geosciences Society	11th Annual Meeting AOGS 2104, 札幌, Hermann Fritz, David Phillips, Akio Okayasu, Takenori Shimozono, Haijiang Liu, Seichi Takeda, Fahad Mohammed, Vassilis Skanavis, Costas Synolakis, Tomoyuki Takahashi, OS16-A033
原子力発電所周辺地域における防災・減災の推進	共同	2014年12月6日	日本地震工学会他	第14回日本地震工学シンポジウム, 幕張メッセ, 松山昌史, 佐藤慎司, 高橋智幸, 有川太郎, 山田博幸, OS9-Sat-PM1-6
2011 Tohoku tsunami runup hydrographs, ship tracks, upriver and overland flow velocities based on video, LiDAR and AIS measurements	共同	2014年12月15日	American Geophysical Union	AGU 2014 Fall Meeting, San Francisco, Hermann M Fritz1, David A Phillips, Akio Okayasu, Takenori Shimozono, Haijiang Liu, Seichi Takeda, Fahad Mohammed, Vassilios Skanavis, Costas Synolakis and Tomoyuki Takahashi
Model of Predicting Multi Tsunami Scenarios Considering Large Slip Zone and Super Large Slip Zone and Its Application in the Nankai Trough	共同	2014年12月15日	American Geophysical Union	AGU 2014 Fall Meeting, San Francisco, Shuji Seto and Tomoyuki Takahashi
Numerical Experiment on Observation Capabilities of Oceanographic Radar for Far Field Tsunami Off Chile	共同	2014年12月16日	American Geophysical Union	AGU 2014 Fall Meeting, San Francisco, Megumi Okamoto, Tomoyuki Takahashi, Shuji Seto, Hirofumi Hinata and Tomoya Kataoka
イースター島での津波被害調査速報	共同	2014年12月25日	東北大学他	第4回巨大津波災害に関する合同研究集会, 東北大学, 高橋智幸, 八木勇治, 高川智博, Erick Mas
(招待講演) 津波レーダの開発に向けて～津波警報の信頼性向上と激甚被災地の早期把握を目指して～	単独	2014年3月12日	G空間情報を活用した次世代防災・被災地支援システム研究会	第3回シンポジウム, 関西大学社会安全学部
東日本大震災を踏まえた大規模自然災害への備え	単独	2014年8月22日	大阪産業大学	原子力災害・大規模災害後の環境対策セミナー, グランフロント大阪北館タワーC
原子力安全と津波	単独	2014年9月12日	土木学会	土木学会全国大会研究討論会, 大阪大学全学教育推進機構
東日本大震災で示された従来の津波防災の問題点と方向性—グローバルスタンダードとなり得る津波防災技術の提案—	単独	2014年10月23日	三菱電機株式会社	三菱電機株式会社講演会, 三菱電機通信機製作所
これまでの津波防災の問題点と今後の方向性を考える—東日本大震災における津波被害を踏まえて—	単独	2014年11月7日	国土交通省	近畿地方治水大会講演, エル大阪二階大ホール
市街地への津波氾濫による人的被害の軽減策	単独	2014年12月15日	土木学会	土木学会トークサロン: 東日本大震災復興フォローアップセミナー, 中央大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究	代表	2013～2014年	700 (1,600)	自立型発電システムを用いたサンゴ再生促進技術の開発
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(S)	分担	2012～2016年	0 (0)	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策
文部科学省次世代スーパーコンピュータ戦略プログラム	分担	2010～2015年	1,818 (14,418)	防災・減災に資する地球変動予測
文部科学省委託事業南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト	分担	2013～2020年	0 (0)	東日本大震災の教訓化と活用研究
独立行政法人科学技術振興機構・独立行政法人国際協力機構・地球規模課題対応国際科学技術協力プロジェクト	分担	2011～2015年	3,000 (11,910)	津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究

社会安全学研究 第5号

原子力規制委員会原子力施設等防災対策等委託費	代表	2014年	48,999 (48,999)	津波堆積物に基づく津波波源推定手法の開発
神戸市研究教育拠点(COE)形成推進事業	分担	2013~2017年	1,800 (63,491)	関西地域を対象とした都市防災の計算科学研究—地震津波と集中豪雨被害のハザードマップの作成—
三菱財団自然科学研究助成	分担	2013~2014年	0 (6,000)	陸上設置型遠距離津波レーダ開発に基づく津波初期波形の直接計測
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本土木学会				
日本地震学会				
日本自然災害学会				
日本災害情報学会				
可視化情報学会				
American Geophysical Union				
(社会貢献活動)				
土木学会, 原子力土木委員会委員				
土木学会, 原子力土木委員会津波評価小委員会委員長				
土木学会, 地震・津波複合災害の推定手法および対策研究小委員会委員				
土木学会, 減災アセス小委員会委員				
土木学会, 技術者資格委員会幹事				
土木学会, 海洋開発論文集査読小委員会委員				
日本自然災害学会, 編集委員会委員				
日本地震工学会, 原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する委員会委員				
The IUGG Joint Tsunami Commission Member				
文部科学省, 地震調査研究推進本部専門委員				
国土交通省, 津波防災に関する懇談会メンバー				
国土交通省, 京阪神都市圏広域防災拠点整備検討ワーキンググループ委員				
国土交通省, 東北地方整備局リバーカウンセラー				
大阪府, 防災会議専門委員				
大阪府, 河川構造物等審議会委員				
大阪府, 南海トラフ巨大地震被害想定検証部会委員				
大阪府, 南海トラフ巨大地震に対する土木構造物耐震対策検討部会委員				
大阪府, 石油コンビナート等防災本部専門員				
大阪府, 石油コンビナート等防災本部地震・津波被害想定等検討部会員				
沖縄県, 津波浸水想定設定委員会委員				
大阪市, 港湾審議会委員				
堺市, 津波避難対策検討協議会委員				
特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構, 理事				
財団法人防災研究協会, 非常勤研究員				

研究業績

■ 土田 昭 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 防災・減災のための社会安全学：安全・安心な社会の構築への提言	分担	2014年3月	ミネルバ書房	関西大学社会安全学部（編）（担当部分「東日本大震災後のリスク認知・リスク対応行動」Pp.65-80）
(学術論文) 共有情報の討議が討議メンバーについての知識の獲得に及ぼす影響 「原子カムラ」の境界を越えるためのコミュニケーション：(1) 市民と専門家の間に存在する心理的境界 Comparative research on NIMBY risk acceptability between Chinese and Japanese college students. エネルギーと原子力に関する定期意識調査（首都圏住民）	共著 単著 共著 共著	2014年3月 2014年4月 2014年7月online 2014年10月print 2014年8月online 2014年9月print	神戸親和女子大学 日本原子力学会 Springer 日本原子力学会	神戸親和女子大学研究論叢：第47号，21-34（辻川典文と共著） 日本原子力学会誌：第56巻，第4号，181-183（査読有） Environmental Monitoring and Assessment: Vol. 186, Issue 10, 6683-6694. (co-authors: Wu, Y., Ahai, G., Li, S., Ren, C.) [DOI: 10.1007/s10661-014-3882-7] (査読有) 日本原子力学会和文論文誌：第13巻，第3号，94-112（篠田佳彦・木村浩と共著） [DOI: 10.3327/taesj13.018]（査読有）
(その他、論考・研究資料等) 「こころ」を持ったロボットは必要か？	単著	2014年4月	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）	『我が国ロボット技術の社会実装の推進等に関する検討「ロボット白書～世の中を変えたいとき，そこにロボット技術がある』Pp.106-107（依頼原稿）
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称，場所
(学会発表) 「原子カムラ」の境界を越えるための研究：(6) 質問紙調査に表れたフォーラムの効果を検討する 「原子カムラ」の境界を越えるための研究：(7) フォーラム参加者の気づきはどのように誘起されたか 「原子カムラ」の境界を越えるための研究：(8) フォーラムの再設計 Effects of risk judgment tendency on the language representation of risk at The Tohoku Disaster:A comparison between Japanese and American. 米国における消防組織形態と住民の防災意識 Social Capital, Mutual Aids in Disasters, and Evaluation on Neighborhood's Disaster-Preparation: Comparison between the States of Volunteer-Fire-fighter and the States of Career-Fire-fighter in the United States.	共同 共同 共同 共同 共同 共同	2014年3月26日 2014年3月26日 2014年3月26日 2014年7月13日 2014年11月30日 2014年12月9日	日本原子力学会 日本原子力学会 日本原子力学会 International Association of Applied Psychology 日本リスク研究学会 The Society for Risk Analysis	日本原子力学会 2014年春の年会（東京都都市大学 [東京都世田谷区]）（木村浩・神崎典子・諸葛宗男・久保稔・丸山剛史・竹中一真・篠田佳彦・別府庸子と共同） 日本原子力学会 2014年春の年会（東京都都市大学 [東京都世田谷区]）（木村浩・神崎典子・諸葛宗男・久保稔・丸山剛史・竹中一真・篠田佳彦・別府庸子と共同） 日本原子力学会 2014年春の年会（東京都都市大学 [東京都世田谷区]）（木村浩・神崎典子・諸葛宗男・久保稔・丸山剛史・竹中一真・篠田佳彦・別府庸子と共同） 8 th International Conference on Applied Psychology (Palais des Congrès [Paris, France] (co-authors: NAKAGAWA, Y., TSUJIKAWA, N., SHIOTANI, T.) 日本リスク研究学会第27回年次大会（京都大学 [京都府京都市]）（塩谷 尚正・辻川 典文と共同） The Society for Risk Analysis, Annual Meeting 2014 (Sheraton Denver Downtown H. [Denver, USA] (co-authors: SHIOTANI, T., TSUJIKAWA, N.)
(招待講演) リスクコミュニケーションと社会心理学	単独	2014年1月17日	日本機械学会	日本機械学会連続講座（NEDO 共催） 「法と経済で読み解く技術のリスクと安全～社会はあなたの新技術を受け入れるか～」（日本機械学会 [東京都新宿区]）

社会安全学研究 第5号

危機におけるコミュニケーションとリーダーシップ	単独	2014年2月19日	(株)原子力発電訓練センター	第14回 NTC 訓練セミナー「シビアアクシデント教育及び対応訓練への取り組み」(原子力発電訓練センター [福井県敦賀市])
安全・安心なまちづくりと消費者教育：繋がりの重要性	単独	2014年2月27日	高槻市	平成25年度たかつき消費者教育シンポジウム「高槻市における消費者教育のこれから：消費者教育推進に向けたネットワークの構築」(総合市民交流センター [大阪府高槻市])
リスクコミュニケーションとクライシスコミュニケーションの心理学	単独	2014年3月29日	(独)日本原子力研究開発機構	リスクコミュニケーション講演会(原子力機構アトムワールド講堂 [茨城県東海村])
平時における防災意識と危機管理	単独	2014年3月26日	NPO 法人うえるねす・コア21	第2回ウエルネスシンポジウム「東日本大震災復興支援「防災シンポジウム」」(兵庫県民会館 [兵庫県神戸市])
親密な人間関係認識の陥穽とコンプライアンス	単独	2014年10月5日	(株)京進	京進スクール・ワン 滋賀地区コンプライアンス研修(草津市立会館 [滋賀県草津市])
親密な人間関係認識の陥穽とコンプライアンス	単独	2014年10月26日	(株)京進	京進スクール・ワン 京都・大阪・奈良地区コンプライアンス研修(京都産業会館 [京都府京都市])
親密な人間関係認識の陥穽とコンプライアンス	単独	2014年10月26日	(株)京進	京進スクール・ワン 愛知地区コンプライアンス研修(愛知県産業労働センター [愛知県名古屋市])
リスク心理学から見た災害時避難	単独	2014年12月5日	京都大学	京都大学防災研究所平成26年度一般研究集会(土木学会共催)「地下街・地下鉄の洪水リスクマネジメント」(メルパルク京都 [京都府京都市])
原子力研究開発教育と心理学	単独	2014年12月16日	東京大学	東京大学大学院工学研究科 先進原子力特別講義第三(東京大学 [東京都文京区])
市民と専門家の意識調査：母集団調査結果とフォーラム参加者の結果	単独	2014年12月20日	NPO 法人パブリック・アウトリーチ	平成26年度文部科学省原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ課題「『原子カムラ』の境界を越えるためのコミュニケーション・フィールドの試行」シンポジウム(東京大学 [東京都文京区])
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
電気安全環境研究所「受託研究」	代表	2012年度- 2014年度	1,927 (2,520)	電磁界の認知度に関する調査研究
東北電力株式会社「受託研究」	代表	2014年度	1,331 (1,331)	EMF コミュニケーションの動向調査研究
文部科学省「国家課題対応型研究開発推進事業『原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ』」	分担(再委託先代表)	2012年度- 2014年度	735 (16,286)	「原子カムラ」の境界を越えるためのコミュニケーション・フィールドの試行
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本リスク研究学会				
The Society for Risk Analysis				
日本心理学会				
日本社会心理学会				
日本グループ・ダイナミックス学会				
日本応用心理学会				
日本行動計量学会				
法と心理学会				
日本原子力学会				
日本消費者行動研究学会				

研 究 業 績

(社会貢献活動)

(公益財)JR 西日本あんしん社会財団, 「事業審査評価委員会」委員

(財)電気安全環境研究所, 「情報提供委員会」委員

(財)電気安全環境研究所, 「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー

(財)大阪科学技術センター, 「電磁界 (EMF) に関する調査研究委員会」委員

(一社)日本原子力学会, 「市民および専門家の意識調査・分析」特別専門委員会主査

■ 中 村 隆 宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) 安全体感教育の実効性を上げるためには	単著	2014年7月1日	中央労働災害防止協会	安全と健康, 第65巻第7号, 38-39
労働の多様化とこれからの社会	単著	2014年11月1日	ボイラ・クレーン安全協会	Jitsu & Ten 実務&展望, No.282, 33-38
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) フライトデータを用いた航空機操縦の技能習熟評価について	共同	2014年9月10日	ヒューマンインタフェース学会	ヒューマンインタフェースシンポジウム2014, 京都工芸繊維大学
フライトデータを用いた航空機操縦の評価に関する一考察	共同	2014年9月12日	日本プラント・ヒューマンファクター学会	2014年度日本プラント・ヒューマンファクター学会大会, 日本大学生産工学部津田沼学舎
東京国際空港における救命救急体制の現状とその問題点について	共同	2014年11月15日	日本航空医療学会	第21回日本航空医療学会総会, ホテル阪神
日本の航空医療の未来像について	共同	2014年11月15日	日本航空医療学会	第21回日本航空医療学会総会, ホテル阪神
(招待講演) DRIVEにおける思いやりのこころの重要性	単独	2014年4月18日	NEXCO 西日本	DRIVE & LOVE 第4回プロジェクトメンバー交流会, TKP ビジネスセンター
労働災害の防止とヒューマンエラーへの対応	単独	2014年7月25日	宇部興産株式会社	宇部興産グループ安全衛生大会特別講演, 宇部興産宇部本社
産業安全とヒューマンエラーへの対応	単独	2014年8月22日	はりま産学交流会	はりま産学交流会8月創造例会2014, 姫路商工会議所
新しい視点からのヒューマンエラー対応	単独	2014年12月19日	関西化学工業協会	安全管理講演会, 関電会館
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費助成事業(基盤研究C)	代表	2013年4月～2016年3月	1400	産業事故防止のための危険体験教育の高度化
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本心理学会 正会員 日本応用心理学会 正会員 日本人間工学会 正会員 日本交通心理学会 正会員 産業組織心理学会 正会員 日本ヒューマンインタフェース学会 正会員 土木学会 正会員 電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員 日本航空医療学会 正会員 日本プラント・ヒューマンファクター学会 正会員				
(社会貢献活動) 高所作業車「危険再認識教育」講師養成研修 総合指導, (社)全国登録教習機関協会, 2014年3月18日～19日(酒井重工業研修センター), 2014年9月3日～4日(アイチ研修センター テクノプラザ) 「ヒューマンファクタ的視点からの組織安全向上のための取り組みに関する研究」技術情報交換研究会, 東北大学大学院工学研究科, 2014年4月～現在 平成26年度「安全教育研修」の実施に伴う指導・評価, 東京電力株式会社 総合研修センター, 2014年11月～現在 指定自動車教習所職員講習 講師, 一般社団法人大阪自動車学校協会(大阪府門真市), 2014年6月1日～11月30日(うち6回担当) ヒューマンエラー防止セミナー, 一般社団法人茨城県経営者協会, 2014年10月15日, 水戸三の丸ホテル 林野庁森林技術総合研修所 平成26年度健康安全管理研修, 『ヒューマンエラーはなぜ起こる』 2014年6月11日, 森林技術総合研修所				

研 究 業 績

■ 西 村 弘

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 新たな交通政策の提言に向けて	単著	2014年2月	交通運輸政策研究会	交運研, 第28号, pp.35-55
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 国道43号線通行ルール策定の経緯—日本における交通需要管理政策の課題—	単独	2014年1月10日	日本交通学会	日本交通学会関西支部
(招待講演) ベトナム交通事情調査と日本における交通政策課題	単独	2014年4月19日	大阪交運共闘	ベトナム調査団報告会
新たな交通政策提言にむけて 道路公害被害と反対運動・道路政策	単独 単独	2014年10月25日 2014年10月28日	交通運輸政策研究会 JICA	第8回交通問題研究集会 JICA 課題別研修「都市における自動車公害対策」コース
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本交通学会(常務理事), 海運経済学会(理事), 港湾経済学会, 公益事業学会(監事), 交通権学会(理事・事務局長), 日本環境会議(理事), 日本物流学会				
(社会貢献活動) 公益財団法人 地域再生センター(通称:あおぞら財団) 評議員				

■ 広瀬 幸雄

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 防災減災のための社会安全学	分担執筆	2014年3月	ミネルヴァ書房	編者関西大学社会安全学部 第5章災害リスクへの対処, 81-94頁.
リスクガバナンスの社会心理学	分担執筆	2014年6月	ナカニシヤ出版	編者広瀬幸雄 序章リスクコミュニケーションとは何か, 1-16頁, 第5章リスクコミュニケーションとしての流言, 65-84頁.
(学術論文) 市民参加型ごみ処理基本計画が市民に受け入れられ、行政への信頼を醸成するために何が必要か	共著	2014年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, 4号, 43-50頁 広瀬幸雄・大友章司(査読有)
フランスにおける高レベル放射性廃棄物管理方策とサイト選定の決定プロセスの公正さ	共著	2014年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, 4号, 51-76頁 大澤英昭・広瀬幸雄・大沼進・大友章司(査読有)
福島原子力発電所事故による高レベル放射性廃棄物の地層処分の社会的受容の変化	共著	2014年6月	日本リスク研究学会	リスク研究学会誌, 24(1), 49-59頁. 大友章司・大澤英昭・広瀬幸雄・大沼進(査読有)
集団間の資源格差が劣位集団の集合行為とアイデンティティに及ぼす影響	共著	2014年12月	人間環境学学会	人間環境学研究, 12巻2号, 119-124頁 垂澤由美子・広瀬幸雄(査読有)
震災がれき受け入れ是非のリスクコミュニケーションゲームの作成	単著	2014年12月	日本シミュレーション&ゲーミング学会	シミュレーション&ゲーミング(査読有)印刷中
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(口頭発表) リスクコミュニケーションの教育研究: 文理融合学部での実践	単独	2014年3月28日	横浜国立大学大学院環境情報研究院	横浜国立大学大学院環境情報研究院シンポジウム「安心安全社会を考える: 文理融合の試み」
Intergenerational and interregional justice for policy acceptance of geological disposal of high-level radioactive waste: a case study in France	共同	2014年7月12日	IAAP	ICAP2014, Paris, France
Determinants on public acceptance in order to site a facility for high-level radioactive waste in France	共同	2014年7月13日	IAAP	ICAP2014, Paris, France
フランス高レベル放射性廃棄物地層処分施設の受容に関する規定因	共同	2014年7月27日	日本社会心理学会	第55回社会心理学会大会 北海道大学
エネルギー・環境の選択肢に関する討論型世論調査は民意を反映していたのか	共同	2014年7月26日	日本社会心理学会	第55回社会心理学会大会 北海道大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B	代表	2012年~2014年	4600千円 (14000千円)	高レベル放射性廃棄物地層処分政策の社会的受容の規定因に関する日欧比較調査研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本シミュレーション&ゲーミング学会(理事), 日本社会心理学会(編集委員), 日本心理学会, 土木学会, 日本リスク研究学会, 廃棄物資源循環学会, 環境教育学会				
(その他業績として記載を希望する事項) 2014年3月6日 科学技術融合振興財団第7回 FOST 賞受賞 2014年9月9日 日本心理学会優秀論文賞受賞				

研 究 業 績

■ 山 川 栄 樹

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 社会調査のための確率・統計	単著	2014年9月26日	電気書院	i-v, 1-216
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) システム制御情報学会 日本応用数学会 日本オペレーションズ・リサーチ学会 日本経営工学会 NPO 法人環境・エネルギー農林業ネットワーク NPO 法人環境・エネルギー農林業ネットワーク講演会 (京都大学百周年時計台記念館)				

■ 桑 名 謹 三

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 債務免責者問題の解決策としての責任保険 の効果 ―保険の経済学的分析を通じて―	単著	2014年9月	日本保険学会	保険学雑誌 第626号, p71-92
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 債務免責者問題の解決策としての責任保険 の効果 ―保険の経済学的分析を通じて―	単独	2014年3月14日	日本保険学会	関東部会, 損保会館
東京海上日動社の保険金不払い事件について― 現状把握と問題提起―	単独	2014年6月7日	日本リスクマネジメント学会	関東部会, 専修大学神田校舎
環境汚染をカバーする責任保険を使った政策 の可能性について	単独	2014年12月6日	日本公共政策学会	関西支部第42回例会, 関西大学ミューズ キャンパス
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本保険学会, 日本公共政策学会, 環境経済・政策学会, 環境法政策学会, 日本経済政策学会, 法と経済学会, 日本リスクマネジメント 学会				

研究業績

■ 越山 健治

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 防災・減災のための社会安全学	分担執筆	2014年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編。「第12章 都市復興」(pp.213-228) 担当。
(学術論文) 広域連携を見据えた災害対応組織のあり方	単著	2014年3月	日本自治体危機管理学会	自治体危機管理研究 Vol.13, pp.21-28
Characteristics of emergency response at the Great East Japan Earthquake	単著	2014年9月	Global Risk Forum	IDRC DAVOS 2014 Poster Collection, pp.91-94
Analysis of the allocation pattern of the temporary housing sites after disasters	単著	2014年10月	ICUDR	3 ed International Conference on Urban Disaster Reduction
食料備蓄実施者のコンピテンシーに関する研究	共著	2014年6月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.34
復興まちづくり空間の物語的評価	単著	2014年8月	日本建築学会	2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1, pp.651-652
障害のある人々の持つ空間認知と安全対策に関する研究	共著	2014年11月	地域安全学会	地域安全学会梗概集 No.35, pp.57-60
(その他、論考・研究資料等) 災害に対する空間対応力を備えたレジリエンス社会	単著	2014年2月	日本建設業連合会	Ace 建設業界2014年2月号, pp.32-33
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 食料備蓄実施者のコンピテンシーに関する研究	共著	2014年6月	地域安全学会	2014年地域安全学会春季研究発表会, 兵庫
復興まちづくり空間の物語的評価	単著	2014年8月	日本建築学会	2014年日本建築学会大会, 兵庫
障害のある人々の持つ空間認知と安全対策に関する研究	共著	2014年11月	地域安全学会	2014年地域安全学会秋季研究発表会, 静岡
(招待講演) 人は災害とともに生きる	単独	2014年1月18日	洲本第一小学校	
大震災から得られた地域の防災対策	単独	2014年1月25日	高槻市	防災指導員養成講座
高槻市を取り巻く災害危険性とその備え	単独	2014年2月1日	高槻市	防災指導員養成講座
巨大災害発生へのカウントダウン	単独	2014年1月27日	インターリスク総研	新春リスクマネジメントセミナー
災害対策本部運営	共同	2014年2月6日	内閣府	防災スペシャリスト養成研修 防災一般コース
よくわかる災害への備え方	単独	2014年2月16日	高槻市	高槻市防災講演会
南海トラフ地震と復興の課題	共同	2014年3月17日	関西大学	南海トラフ巨大地震対応と復興を考えるシンポジウム
災害対策を視野に入れたエリアマネジメント	単独	2014年5月8日	ドームシティ振興連絡会	防災勉強会
大規模災害時における都市整備部の主な役割と各体制のあり方	共同	2014年5月24日	海南市	海南市災害対策検討会 都市整備部
都心における防災の考え方	共同	2014年6月6日	船場減災展実行委員会	第四回船場減災展シンポジウム
災害時における組織の業務遂行について	単独	2014年6月19日	新潟県こころのケアセンター	平成26年度被災地におけるこころのケア活動従事者研修会
公園を活用した安全・安心を考えよう	単独	2014年7月27日	高槻市	高槻市安満遺跡公園 市民活動プロジェクト
災害時代に備える学校が持つ役割	共同	2014年8月5日	関西大学	平成26年度大阪府・大阪市教員対象講座
最近の防災・減災の取り組み方向性	単独	2014年8月8日	堺市	堺市議会 安全・安心なまちづくり調査特別委員会
危機発生！そのとき学校はどう動く	単独	2014年8月7日	高槻市	平成26年度 高槻市教頭研修
災害に備えること地域との共助を考える	共同	2014年9月8日	大阪府	食と防災シンポジウム2014
行政組織の災害対応課題	共同	2014年10月30日	土木学会	建築技術展2014近畿 阪神・淡路大震災20周年地震防災フォーラム

社会安全学研究 第5号

都心の防災・減災の考え方	共同	2014年11月16日	神戸市	都心の未来を考えるシンポジウム 防災部会
最近の防災に関する諸課題	単独	2014年11月19日	北おおさか信用金庫	高槻市中心市街地事業者の集い
大都市大阪が持つ防災・減災の「場」	共同	2014年11月24日	三大学連携事業事務局	第11回三大学連携事業 シンポジウム
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費 基盤研究 (B)	代表	2014～2017年度	5040 (11900)	巨大災害を見据えたすまいの復興計画のあり方の研究
都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクトサブプロ③	分担	2012～2016年度	1500 (6500)	関西圏における災害復興事例の分析
科学研究費 基盤研究 (B)	分担	2013～2015年	350 (700)	東日本大震災におけるCFWの実態調査と災害対応技術としての確立
科学研究費 基盤研究 (B)	分担	2013～2015年	150 (450)	東日本大震災からの住宅復興に関する被災者実態変化の追跡調査研究
科学研究費 挑戦的萌芽研究	分担	2013～2014年	200 (400)	東日本大震災における課題構造の解明と実効性の高い順応的管理の体系化
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本建築学会 都市防災マネジメント小委員会委員				
日本都市計画学会 防災部会				
地域安全学会				
日本火災学会				
都市住宅学会				
日本自治体危機管理学会				
日本災害情報学会				
日本災害復興学会				
(社会貢献活動)				
大阪府石油コンビナート等防災本部地震・津波被害想定検討部会 委員				
倉敷市健康機器管理初期対応等マニュアル改定検討会議 委員				
高槻市 安満遺跡芝生公園整備構想検討会				
和歌山県 津波から逃げ切る支援プログラム 委員				
兵庫県 学校防災アドバイザー 委員				

■ 小 山 倫 史

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 斜面崩壊体崎技術-メカニズム・センシング・監視システム・新施工法 岩盤斜面崩壊のハザード抽出と影響評価	分担執筆 分担執筆	2014年5月 2014年8月	(株)NTS (公社)土木学会	第2編第2章第3節 ゲリラ豪雨時の斜面安定性評価手法 (p.125-132)を担当した。 土木学会岩盤力学委員会岩盤斜面のハザード研究小委員会編著, 4.2.2節, 数値解析手法 (p.94-100), 4.3.3節, 3) 粒状体個別要素法を用いた斜面崩壊の解析事例 (p.123-124), 4) 不確実性を考慮した不連続変形法 (p.124-127)を担当した。
(学術論文) Recent insights into analytical precision and modeling of DDA and NMM for practical problems Stability analysis of masonry structure in Angkor Ruin considering the construction quality of the foundation	共著 共著	2014年2月 2014年12月	Taylor & Francis Scientific & Academic Publishing	Geomechanics and Geoengineering, an International Journal, 9 (2) 97-112, Ohnishi, Y., Sasaki, T., Koyama, T., Hagiwara, I., Miki, S. and Shimauchi, T. (査読有) Journal of Civil Engineering Research, 4(3A) 78-82, Hashimoto, R. Koyama, T., Kikumoto, M., Saito, T. and Mimura, M. (査読有)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) CFD-DEMによるグラウト注入シミュレーション-注入メカニズムの解明および効率的な注入条件の検討 原位置落石実験の3次元不連続変形法(DDA)による検討 CFD-DEM simulations for injection of cement-based grout - the effect of particle size- NMM-DDAによるアンコール遺跡バイヨン寺院の基壇掘削時安定解析 アンコール遺跡バイヨン寺院の版築および周辺の自然地盤の力学特性 国道沿い斜面における地盤内の雨水浸透計測結果を加味した数値解析 地形地質及び降雨特性を考慮した雨量通行規制基準の提案 奈良県野迫川村における平成23年台風12号の豪雨による表層崩壊現場の現地調査・試験(1)一原位置試験結果・現場せん断試験機の適用一	共同 共同 共同 共同 共同 共同 共同	2014年 1月9-10日 2014年 1月9-10日 2014年 5月27-29日 2014年 7月15-17日 2014年 7月15-17日 2014年 7月15-17日 2014年 7月15-17日 2014年 7月15-17日	土木学会 土木学会 国際岩の力学学会(ISRM) 地盤工学会 地盤工学会 地盤工学会 地盤工学会	第42回岩盤力学に関するシンポジウム, 土木学会, 東京, 小山倫史, 榊原慎也, 清水浩之, 講演集, pp.183-188. 第42回岩盤力学に関するシンポジウム, 土木学会, 東京, 佐々木猛, 萩原育夫, 島内哲也, 大西有三, 小山倫史, 三木茂, 講演集, pp.56-61 The 2014 ISRM European Rock Mechanics Symposium (EUROCK2014), Vigo, Spain, Sakakibara, S., Koyama, T., Shimizu, H., In: Rock mechanics and rock engineering: structures on and in rock masses, eds. Alejano, Perucho, Olalla & Jimenes, Taylor & Francis Group, London, pp.793-798. 第49回地盤工学研究発表会, 北九州市, 橋本涼太, 小山倫史, 齊藤徹, 菊本統, 講演概要集, pp.29-30. 第49回地盤工学研究発表会, 北九州市, 齊藤徹, 菊本統, 橋本涼太, 小山倫史, 講演概要集, pp.27-28. 第49回地盤工学研究発表会, 北九州市, 檀上徹, 小山倫史, 中村秀樹, 鶴澤祐人, 藤本将光, 福山直紀, 講演概要集, pp.27-28. 第49回地盤工学研究発表会, 北九州市, 鶴澤祐人, 小山倫史, 中村秀樹, 檀上徹, 李圭太, 福山直紀, 講演概要集, pp.1753-1754. 第49回地盤工学研究発表会, 北九州市, 講演概要集, 加藤正司, ロハニ・タラディ, 鳥居宣之, 小泉圭吾, 小山倫史, 鏡原聖史, 松本修司, 白井亮太, 文岩秀貴, 三田村宗樹, pp.1797-1798.

Measurement of joint displacement using photogrammetry along the masonry wall in Borobudur Temple, Indonesia.	共同	2014年 9月15-19日	国際応用地質学会 (IAEG)	IAEG XII Congress, Torino, Italy, Koyama, T., Shimoda, I. and Iwasaki, Y., In: Engineering Geology for Society and Territory - Volume 8, Preservation of Cultural Heritage, pp.53-57.
Establishment of criteria for traffic regulation along the national road based on numerical simulations during torrential rainfall	共同	2014年 9月15-19日	国際応用地質学会 (IAEG)	IAEG XII Congress, Torino, Italy, Tsuzawa, Y., Koyama, T., Nakamura, H., Lee, K., Fukuyama, N and Yamada, M., In: Engineering Geology for Society and Territory - Volume 2, Landslide Processes, pp.1293-1297.
Numerical study on the bearing capacity of the traditional soil foundation in Angkor ruin with NMM-DDA	共同	2014年 9月22-25日		The 14th International Conference of the International Association for Computer Methods and Advances in Geomechanics (14th IACMAG), Kyoto, Japan, Hashimoto, R., Koyama, T., Mimura, M., Kikumoto, M., Saito, T.,
Parameter studies on in-situ rockfall problems by 3D-DDA	共同	2014年 10月14-16日	国際岩の力学会 (ISRM)	The 8th Asian Rock Mechanics Symposium (ARMS8), Sapporo, Japan, Sasaki, T., Hagiwara, I., Shimauchi, T., Ohnishi, Y., Miki, S and Koyama, T., paper ID: OS2-2, pp.1-10.
A case study on the hazard assessment of rock slope by the scenario analysis.	共同	2014年 10月14-16日	国際岩の力学会 (ISRM)	The 8th Asian Rock Mechanics Symposium (ARMS8) Sapporo, Japan, Miki, S., Komata, S., Shinji, M., Nishimura, T. and Koyama, T., paper ID: OS2-5, pp.1-10.
Stability analysis of the Bayon Central Tower with NMM-DDA considering the excavation of the foundation	共同	2014年 10月14-16日	国際岩の力学会 (ISRM)	The 8th Asian Rock Mechanics Symposium (ARMS8) Sapporo, Japan, Hashimoto, R., Koyama, T., Kikumoto, M., Saito, T., Yamada, S., Araya M., Iwasaki Y. and Ohnishi, Y., paper ID: OS2-1, pp.1-9.
2D CFD-DEM simulations for injection of cement-based grout - the effect of particle adsorption-	共同	2014年 10月14-16日	国際岩の力学会 (ISRM)	The 8th Asian Rock Mechanics Symposium (ARMS8) Sapporo, Japan, Sakakibara, S., Koyama, T., Shimizu, H., paper ID: RW1-7, pp.1-8.
3D CFD-DEM Modeling for Clogging Process of Cement-based Grout.	共同	2014年 10月14-16日	国際岩の力学会 (ISRM)	The 8th Asian Rock Mechanics Symposium (ARMS8) Sapporo, Japan, Shimizu, H. and Koyama, T., paper ID: RW1-4, pp.1-7.
Stability analysis of masonry structure in Angkor Ruin considering the construction quality of the foundation.	共同	2014年 10月20-22日		Geohazard Information Zonation (GIZ 2014) Medan, Indonesia, I. Hashimoto, R. Koyama, T., Kikumoto, M., Saito, T. and Mimura, M., pp.177-181.
(招待講演) 個別要素法以外の不連続体解析手法 (不連続変形法を中心に) 極端気象と都市型災害	単独	2014年 2月27日	地盤工学会	地盤に関する解析技術 (個別要素法) 講習会, 地盤工学会, 東京
降雨特性に応じた道路通行規制のあり方に関する研究	単独	2014年 9月26日	守口市	市民教養講座「身近な危機管理」, 守口市三郷公民館
	単独	2014年10月23日	斜面動態モニタリング研究会	斜面動態モニタリングに基づく斜面崩壊発生予知手法に関する研究報告会, 砂防会館, 東京
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位: 千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究補助金, 基盤研究 (B)	代表	2014年~2016年	9,880 (14,970)	アンコール遺跡バイヨン寺院の安定化と修復・保存に向けた地盤・岩盤工学的検討
文部科学省科学研究補助金, 基盤研究 (A)	分担	2014年~2016年	2,600 (H26: 18,980)	熱・水・応力・化学連成場の岩盤透水・力学特性の解明と連成数値シミュレータの開発

研究業績

文部科学省科学研究補助金, 基盤研究 (B)	分担	2012年～2014年	200 (17,160)	築造過程から豪雨による変形・破壊まで、盛土の一生を解く
文部科学省科学研究補助金, 基盤研究 (B)	分担	2012年～2014年	0 (17,160)	高レベル核廃棄物地層処分に関わる自然バリアの長期安定性の定量的評価手法の確立
国土交通省近畿地方整備局, 新都市社会技術融合創造研究会	代表	2013年～2015年	5,000 (15,937.75)	降雨特性に応じた道路通行規制のあり方に関する研究
国土交通省 平成25年度河川砂防技術研究開発公募・河川技術分野	共同研究者	2013年～2015年	0	電気探査および統合型貫入試験による堤防断面土質モデルの構築に関する技術開発
国土交通省 平成24年度河川砂防技術研究開発公募・河川技術分野	共同研究者	2012年～2014年	0	地震・洪水およびその複合災害に対する統合型河川堤防評価技術の開発
NEXCO 関係会社高速道路防災対策等に関する支援基金, 平成26年度 高速道路の防災対策, 災害支援等の研究機関への助成	共同研究者	2014年	0 (2,840)	降雨と地震のマルチハザードに対する高速道路盛土の浸透・変形連成シミュレータの開発と展開
JST-JICA 地球規模課題対応国際科学技術協力事業	共同研究者	2010年～2015年	0	マレーシアにおける地すべり災害および水害による被災低減に関する研究
以下, フリー記入				
(所属学会) 土木学会 地盤工学会 岩の力学連合会 資源・素材学会 地下水学会 計算工学会 地すべり学会				
(社会貢献活動) 土木学会, 応用力学委員会 離散体の力学小委員会, 委員 土木学会, 地下空間研究委員会 維持管理小委員会, 委員 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤斜面研究小委員会 分科会長 (分科会②) 土木学会, 岩盤力学委員会 論文小委員会, 委員 岩の力学連合会, 電子ジャーナル委員会, 委員 岩の力学連合会, 海外連絡委員会, 委員 地盤工学会, Soils and Foundations 編集委員 地盤工学会関西支部, 「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える調査研究委員会, 委員 ISRM Commission on Discontinuous Deformation Analysis (DDA Commission), International Society for Rock Mechanics (ISRM), member ISRM Commission on Grouting, International Society for Rock Mechanics (ISRM) member 国際地盤工学会アジア地域技術委員会 ATC19 (Geo-Engineering for Conservation of Cultural Heritage and Historical Site in Asia), 委員 国土交通省近畿地方整備局, 道路防災ドクター 国土交通省近畿地方整備局 トンネルアドバイザー 国土交通省近畿地方整備局, 新都市社会技術融合創造研究会, 委員 西日本高速道路株式会社 (NEXCO 西日本), 新名神高速道路大阪府域 地下水流動対策検討委員会, 委員 原子力環境整備促進・資金管理センター, 検討委員会 分野別委員会 (地質環境), 委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 第42回岩盤力学に関するシンポジウム優秀講演論文賞, 受賞 (2014年1月10日) (テレビ番組・コメント) 広島土砂災害に関してコメント, 「ちちんぷいぷい」, 毎日放送, 2014年8月20日 (テレビ番組・コメント) 広島土砂災害に関してコメント, 「VOICE」, 毎日放送, 2014年8月20日 (テレビ番組・コメント) 広島土砂災害に関してコメント, 「情報ライブ ミヤネ屋」, よみうりテレビ, 2014年8月21日 (テレビ番組・コメント) 土砂災害の危険からどう身を守るのか, 「おはよう朝日です」, 朝日放送, 2014年8月28日 (テレビ番組・コメント) 土石流災害に関してコメント, 「VOICE」, 毎日放送, 2014年9月1日 (新聞コメント) 広島土砂災害に関してコメント, 産経新聞, 2014年8月21日 (新聞コメント) 【御嶽山噴火】わずかの雨で土石流 火山灰堆積二次災害に警戒, 産経新聞, 2014年9月29日				

■ 菅 磨志保

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 市民による被災者支援の可能性と課題	分担執筆	2014年	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『防災・減災のための社会安全学』第10章 (pp.178-195) を執筆
災害ボランティア：助け合いの新たな仕組みの可能性と課題	分担執筆	2014年	生活書院	荻野昌弘・蘭信三編著『3.11以降の社会学』第3章 (pp.90-121) を執筆
(学術論文) 原発避難者の生活再建過程と問題構造の解明にむけて：「空間なきコミュニティ」概念化のための試論	共著	2014年	震災科研プロジェクト (科学研究費補助金・基盤研究A) 編集委員会	科学研究費補助金 (基盤研究A)「東日本大震災と日本社会の再建：地震、津波、原発震災の被害とその克服の道」編集委員会『災後の社会学』No.2 (震災科研プロジェクト2013年度報告書) 山本薫子・佐藤彰彦・松蘭祐子・高木竜輔・吉田耕平と共同執筆 (pp.23-41)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 「空間なきコミュニティ」概念の検討を通じた原発避難者の生活再編過程分析 災害社会学の立場から	共同 単独	2014年5月10日 2014年9月20日	地域社会学会 日本社会福祉系学会連合	地域社会学会第39回大会 (自由報告部会1-1) (於 早稲田大学) 日本社会福祉系学会連合シンポジウム「災害福祉学の構築に向けて：社会的孤立の防止と自立支援」(於 東洋大学)
(招待講演) 地域防災力の向上 ～防災・減災の新たな視点と手法で考える 災害が起こったら、災害が起こる前に～地域防災力の向上を目指して 阪神・淡路大震災から20年を目前にして	単独 単独 共同	2014年1月7日 2014年9月25日 2014年11月17日	大阪府 河内長野市 豊中市	大阪府防災講演会 (於 国民会館) 河内長野市ボランティア・市民公益活動グループ運営講座 (於 市民交流センター) 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター設立10周年企画「減災カフェ：阪神・淡路大震災から20年を目前にして」渥美公秀・関嘉寛と共同発表 (於 大阪大学豊中キャンパス)
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費 (基盤研究C)	研究代表者	2011年度～2014年度	480,000円 (3,500,000円)	支援と受援の社会学：災害に関わる市民活動に焦点を当てて
文部科学省科学研究費 (基盤研究B)	研究分担者	2014年度～2016年度	200,000円 (2,600,000円)	「空間なきコミュニティ」における避難者の生活構造の再編に関する社会学的研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本社会学会、地域社会学会、日本都市学会・関東都市学会 日本災害復興学会、日本災害情報学会、自然災害学会、地域安全学会				
(社会貢献活動) 内閣府「防災ボランティア活動検討会」有識者メンバー (平成16年度～現在に至る) 「震災がつなぐ全国ネットワーク」幹事 (平成16年度～現在に至る) 高槻市地域防災会議 委員 (平成24年3月～現在に至る) 富岡町民広域避難者調査 連携協力者 (平成24年4月～現在に至る) 日本災害復興学会 支援委員 (平成25年度～現在に至る) 内閣府「大規模災害時におけるボランティア活動の広域連携に関する有識者会議」有識者メンバー (平成25年度～現在に至る) 関西広域防災計画策定委員会 地震・津波及び風水害対策専門部会 委員 (平成25年6月～現在に至る) 日本財団「災害ボランティアリーダー人材育成プログラム策定委員会」委員 (平成26年10月～現在に至る)				

研究業績

■ 永田尚三

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(学術論文) 消防行政における組織間関係史の研究	単著	2014年2月	武蔵野大学政治経済研究所	政治経済研究所年報第8号, P143-173
特別寄稿, 地方公共団体の領地獲得合戦	単著	2014年8月	全国行政相談協議会	季刊行政相談No.142, P48-54
消防団衰退の背景と今後の消防団活動(特集 消防団は今, どうあるべきか)	単著	2014年9月	都市問題	都市問題105(9), P46-54
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 行政の消防団管理の研究	単独	2014年2月2日	日本行政学会	「災害と科学技術研究部会」第2回研究会, 於同志社大学烏丸キャンパス志高館2階SK288共同研究室
わが国消防行政における垂直補完・水平補完及び共助体制の現状と課題	単独	2014年5月24日	日本行政学会	2015年度研究会「災害と科学技術」研究部会企画, 於東海大学高輪キャンパス
(招待講演) 圏域再編と防災行政	単独	2014年1月30日	愛知県	「大規模災害・復興対策から見た道州制のあり方」に関する有識者ヒアリング, 於愛知県庁
消防行政の新動向	単独	2014年2月18日	大阪隣接協議会	平成25年度関西社会人大学院連合連携講座:『市民協働のまちづくりと安心・安全』第3回, 於大阪駅前第2ビル4階キャンパスポート大阪
東日本大震災と原子力防災行政の現状	単独	2014年6月14日	関西大学	第16回高槻ミュージックキャンパス公開講座「地方公共団体の原子力災害対応と科学技術」, 於関西大学ミュージックキャンパス
自助・共助の重要性和地域での防災の取組	単独	2014年7月5日	高槻市	高槻市全域大防災訓練シンポジウム～訓練の教訓を踏まえた地域防災の充実に向けて～, 於高槻現代劇場大ホール
保有資源をめぐる消防組織間関係	単独	2014年7月16日	関西大学	第6回社会安全学セミナー, 於高槻ミュージックキャンパス(西館)9F M911
科学技術のイノベーションを原子力防災行政に如何に生かすか?—文理融合の防災研究の取り組み—	単独	2014年7月19日	河合塾	京阪神地区難関大学フェスティバル2014, 於河合塾大阪校
都市防災と消防行政	単独	2014年9月19日	大阪隣接協議会	平成26年度関西社会人大学院連合連携講座:『都市と防災』第2回, 於大阪駅前第2ビル4階キャンパスポート大阪
地域の安全・安心を支える消防の役割と課題について	単独	2014年12月21日	神奈川県	かながわ消防応援フェアシンポジウム, 於神奈川県庁本庁舎3階大会議場
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費 基盤(C)	代表	2013~2015	1560(4810)	住民防災組織の活性化策の比較研究—住民防災組織内の専門性—
JR西日本あんしん社会財団 平成26年度研究助成	代表	2014	2000(2000)	津波災害時における消防機関の活動継続体制についての研究
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本行政学会, 日本公共政策学会(日本公共政策学会関西支部運営委員), 日本政治学会, 日本オンブズマン学会(理事), 日本地域学会 日本計画行政学会, 日本法政学会				
(社会貢献活動) 一般社団法人地域原子力防災支援協議会(代表理事) 政策研究フォーラム(評議員)				

■ 永松伸吾

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 雇用創出が震災復興に与える効果—被雇用者アンケートによる計量的評価 被災者の「しごと」としての被災者支援	単著 単著	2014年3月 2014年	ミネルヴァ書房 関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部(編)『防災・減災のための社会安全学』pp.196-212 永松伸吾(編)『仮設住宅支援員—震災が生んだ「しごと」の記録—』pp.15-24
Tokyo quake: Collapse of amazon.com society, Rebuild Japan Initiative Foundation	単著	2014年	CLSA books, Hong Kong	Japan in Peril? 9 crisis scenarios, pp.34-48
復旧・復興期の被災者雇用—緊急雇用創出が果たした役割を「キャッシュ・フロー・ワーク」の視点からみる	共著	2014年12月	独立行政法人 労働政策研究・研修機構	小野晶子・寅屋敷哲也・米沢旦・永松伸吾(共著)労働政策研究報告書 No.169 2014 第I部第5章(pp.71-88), 第II部(事例番号)岩手3(pp.101-109), 宮城2(pp.117-124)を担当.
(学術論文) 東日本大震災におけるしごとの復興	共著	2014年	関西大学社会安全学部	『社会安全学研究』No.4, pp.3-13 共著者: 櫻原正澄・三谷真・菅磨志保, 分担: 全編執筆を担当(査読有)
Are Cash for Work (CFW) Programs Effective to Promote Disaster Recovery? Evidence from the Case of Fukushima Prefecture	単著	2014年3月	FUJI Technology Press	Journal of Disaster Research, Vol.9, No.2, pp.161-175(査読有)
被災地における緊急雇用創出事業はどのような被災者を雇ったのか—大槌町・釜石市・大船渡市における仮設住宅支援員事業を例として	単著	2014年10月	日本災害復興学会	『日本災害復興学会2014長岡大会講演論文集』pp.104-105(査読無)
福島第一原発事故における損害賠償問題	共著	2014年10月	日本災害復興学会	『日本災害復興学会2014長岡大会講演論文集』pp.146-149 共著者: 丸井和彦(査読無)
サンフランシスコ市NENのレジリエンス向上に向けた取り組み	単著	2014年10月	日本災害情報学会	『日本災害情報学会第16回研究発表大会予稿集』pp.80-81(査読無)
被災者による被災者支援業務の評価と課題—多賀城市仮設住宅支援業務を例として—	共著	2014年11月	一般社団法人 地域安全学会	地域安全学会論文集, No.24, pp.183-190 共著者: 元吉忠寛, 金子信也, 岡田夏美 分担: 全体構成, 第4章を除くすべて.(査読有)
(その他, 論考・研究資料等) 巻頭エッセイ 卒論発表会に思う 特集 人口減少時代の自治体職員—将来世代への投資としての自治体防災行政 減災講座「コミュニティ・レジリエンス—地域社会の「関係性」による防災」 特集: 東日本大震災(13) 東日本大震災からの経済復興の現状と課題 書評『市町村合併による防災力空洞化: 東日本大震災で露呈した弊害』(ミネルヴァ書房) (特別企画 日本政治の挑戦) 地域活性化も見すえた防災・減災政策を—これからの防災・減災のあり方を考える.	単著 単著 単著 単著 単著 単著	2014年3月 2014年4月 2014年7月 2014年8月 2014年12月 2014年12月	関西学院大学出版会 株式会社ぎょうせい 大阪ガス(株) 財消防科学総合センター 日本公共政策学会 第三文明社	『理 コトワリ』No.38, pp.2-3 『月刊ガバナンス』No.156, pp.27-29 『Culture,Energy & Life』vol.107, pp.58-61 『消防科学と情報』第117号, pp.14-18 公共政策研究 第14号, pp.128 『第三文明』2014年12月号 (No.660), pp.28-30
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) Are Cash for Work (CFW) programs effective to promote disaster recovery? Evidence from the case of Fukushima Prefecture.	単独	2014年8月26日	Grobal Risk Foram	International Disaster Risk Conference, Davos, Switzerland

研究業績

Japanese Economic Scenarios after Tokyo Inland Earthquake: - An Expert Questionnaire Survey to Leading Japanese Economic Forecasters.	単独	2014年 8月25日	Grobal Risk Forum	International Disaster Risk Conference, Davos, Switzerland
The Provision of Care for Disaster survivors by the Cash for Work (CFW) program: Evaluation and Lessons from the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami Disasters in Tagajo City	単独	2014年 9月30日	ICUDR	International Conference of Urban Disaster Reduction, Boulder, CO, USA.
Development of a Disaster Risk Index for Sustainable Disaster Mitigation	単独	2014年11月 1日	IDRiM Society	Integrated Disaster Risks Management, London, ON, Canada.
被災地における緊急雇用創出事業はどのような被災者を雇用したのか—大槌町・釜石市・大船渡市における仮設住宅支援員事業を例として—	単独	2014年10月24日	日本災害復興学会	2014年大会, 長岡
福島第一原発事故における 精神的損害に係る賠償金についての研究	丸井和彦と共同	2014年10月24日	日本災害復興学会	2014年大会, 長岡
日本災害復興学会・若手人材交流会の実施報告—実務者と研究者のネットワーク構築をねらいにして—		2014年10月25日	日本災害情報学会	2014年大会, 長岡
サンフランシスコ市NENのレジリエンス向上に向けた取り組み	単独	2014年10月25日	日本災害情報学会	2014年大会, 長岡
被災者による被災者支援業務の評価と課題～多賀城市仮設住宅支援業務を例として～	元吉忠寛, 金子信也, 岡田夏美と共同	2014年11月 8日	地域安全学会	秋季大会, 静岡
(招待講演) キャッシュ・フォー・ワーク		2014年 6月28日	日本計画行政学会	関西支部シンポジウム, 大阪市立大学 文化交流センター
津波対策の経済学と公共政策		2014年11月29日	日本リスク研究学会	年次大会, 京都大学農学部
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
科学研究費 (基盤B)	代表	平成25年度～27年度	4,553	東日本大震災におけるCFWの実態調査と災害対応技術としての確立
科学研究費 (基盤S)	分担	平成24年度～28年度	1,250	「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策
科学研究費 (基盤B)	分担	平成25年度～27年度	250	大規模災害時における復旧・復興支援ガバナンスの比較研究
科学研究費 (挑戦的萌芽)	分担	平成25年度～26年度	250	震災復興政策における分配的正義
全労済協会	代表	平成26年1月～平成26年12月	1,078	東日本大震災における緊急雇用創出事業の意義と効果の検証
文部科学省都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト「都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」チーム	分担	平成24年～28年度	2,000	都市災害の経済シナリオ作成
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本公共政策学会, 日本経済学会, 日本計画行政学会, 地域安全学会, 日本自然災害学会, 日本リスク研究学会, 日本災害復興学会, 日本自治体危機管理学会, 日本行政学会, 日本災害情報学会				
(社会貢献活動) 明石市地域防災計画予防計画評価委員会 委員長 一般社団法人 キャッシュ・フォー・ワーク・ジャパン 代表理事 高槻市産業振興審議会 委員 檜葉町復興推進委員会 委員 地域安全学会 学術委員 日本災害復興学会 企画委員長 ジャパン・プラットフォーム (JPF) 助成審査委員会 委員				

(その他業績として記載を希望する事項)

NHK Eテレ「東北発☆未来塾」9月1日放送分「復興するチカラ in アメリカ」講師

CFW-Japan「南海トラフ巨大地震対応と雇用・産業復興を考えるシンポジウム in 南紀」(2014.9.17)の企画開催

研究業績

■ 林 能 成

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) スマトラ地震による津波災害と復興	分担執筆	2014年2月	古今書院	高橋誠・田中重好・木股文昭編著。単独でIV-1 津波災害体験談の収集と活用 (p.327-338) を分担執筆した。
防災・減災のための社会安全学	分担執筆	2014年2月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編。単独で第1章「地震の定量的評価と地震災害軽減」(p.3-21) を分担執筆した。
企画展示図録「歴史にみる震災」	分担執筆	2014年3月	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館編。単独で以下の部分を分担執筆した。「東南海地震の特徴・被害概要」P.177-178, 「袋井周辺への被害集中(東南海地震)」P.185, 「三河地震」P.187, 「南海地震の特徴・被害概要」P.189, 「稲むらの火」P.191, 「南海トラフの地震」P.194-195。
現場の地震防災力を高める～東日本大震災後の取組みに学ぶ実践ノウハウ～	分担執筆	2014年5月	中央労働災害防止協会	中央労働災害防止協会編。単独で第1章「日本の地震リスク」(p.8-14) を分担執筆した。
災害フィールドワーク論 (FENICS・100万人のフィールドワーカーシリーズ)	分担執筆	2014年9月	古今書院	木村周平・柄谷友香・杉戸信彦編著。単独で第4章「理系研究者によるインタビュー調査～2004年インド洋大津波～」(p.61-77) を分担執筆した。
(学術論文) 防災ロゲイニング普及に向けたテストフィールドの設計と活用	共著	2014年3月	関西大学社会安全学部	社会安全学研究, vol.4 p.33-42. 美澤綾子と共著。(査読有)
(その他、論考・研究資料等) 近代地震学の歩みを記録する～金森博雄先生と地震学～	単著	2014年1月	文部科学省地震調査推進本部	地震本部ニュース, 2014年1月号, p.8.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) ため池埋立地における常時微動の比較計測	共同	2014年11月25日	日本地震学会	日本地震学会秋季大会 於 新潟コンベンションセンター
Earthquake and Tsunami booklet based on two Indonesia earthquakes	共同	2014年12月19日	American Geophysical Union	2014 Fall Meeting 於 San Francisco Moscone Center
(招待講演) 南海地震と南海トラフ巨大地震 ～確実に起こること、起こるかもしれないこと～	単独	2014年1月23日	日本赤十字社高知支部	高知県赤十字大会 於 高知県立県民文化ホール
南海トラフ巨大地震のメカニズム・被害・影響～何に備え、何を守る～	単独	2014年2月12日	日本金属プレス工業協会	BCMS 成果報告セミナー 於 TKP 名古屋駅前カンファレンスセンターホール
地震の発生予測と地震防災	単独	2014年2月15日	日本臨床心理士会	平成25年度都道府県被害者支援担当者研修会 於 かんぼの宿焼津
地震計測実習	単独	2014年5月17日	静岡大学防災総合センター	ふじのくに防災フェロー養成講座 於 静岡大学
大規模地震対策特別措置法 について	単独	2014年9月13日	静岡大学防災総合センター	第2回静岡地震火山防災研究会 於 静岡大学
地震・津波情報と避難 ～緊急地震速報と津波警報～	単独	2014年11月13日	高知大学	高知大学共通教育教養科目「災害と生きる」 於 高知大学
資金制度・研究費名	役割(代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費(期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金) 科学研究費・挑戦的萌芽研究	分担	2013-2014	120 (320)	東日本大震災における課題構造の解明と実効性の高い順応的管理の体系化
関西大学若手研究者育成経費	代表	2014	902 (902)	郊外都市の地震災害弱点箇所の定量的評価
東京大学地震研究所・京都大学防災研究所拠点間連携共同研究	代表	2014	1,400 (1,400)	先駆的研究者のオーラルヒストリーから探る地震・火山分野の人材育成モデル

以下、フリー記入
<p>(所属学会)</p> <p>日本地震学会, 代議員 歴史地震研究会 American Geophysical Union Seismological Society of America 日本地球惑星科学連合 日本災害情報学会</p>
<p>(社会貢献活動)</p> <p>静岡県学校防災アドバイザー, アドバイザー, 2012-2014. 日本金属プレス工業協会, 安全環境委員会, 委員, 2013-. 中部電力, 原子力安全技術研究所 アドバイザリ・コミッティ 委員, 2013- 社団法人日本地震学会, 代議員, 2006-. 静岡大学防災総合センター客員准教授, 2011-. 国立歴史民俗博物館共同研究員 (戦時/災害と生活世界の関わりに関する総合的研究), 2011-2015.</p>
<p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>教員免許状更新講習「学校における地震防災のポイント ～南海トラフ巨大地震を視野に入れて～」主担当, 関西大学主催, 関西大学千里山キャンパス, 2014年8月4日. 教員免許状更新講習「東海地震を知る・教える (基礎編)」主担当, 日本地震学会主催, 静岡大学防災総合センター, 2014年8月6日. Kandai 3セミナー「『体験・実験・実践!』 社会安全学部の多様な学びを体験しよう」講義担当, 2014年12月13日.</p>

■ 元吉 忠 寛

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 被災者の心理的影響とその支援	分担執筆	2014年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部(編)防災・減災のための社会安全学 Pp.161-177.
(学術論文) 家庭と地域の防災行動モデルの妥当性の検証	単著	2014年3月	東海心理学会	東海心理学研究, 8, 20-27. (査読有)
東日本大震災後のわが国のあり方についてのシナリオ分析(予備調査・抄)	共著	2014年6月	日本リスク研究学会	日本リスク研究学会誌, 24, 61-66. (前田恭伸・瀬尾佳美・元吉忠寛) (査読有)
態度の両価性が行動意図の形成に及ぼす影響 —子宮頸がん検診の受診を対象とした検討—	共著	2014年8月	日本グループ・ダイナミックス学会	実験社会心理学研究, 24, 1-10. (平島太郎・土屋耕治・元吉忠寛・吉田俊和) (査読有)
被災者による被災者支援業務の評価と課題 —多賀城市仮設住宅支援業務を例として—	共著	2014年11月	地域安全学会	地域安全学会論文集, 24, 183-190. (永松伸吾・元吉忠寛・金子信也・岡田夏美) (査読有)
(その他, 論考・研究資料等) 人はなぜ災害に備えないのか ためらわず逃げる習慣を	単著 単著	2014年11月 2014年8月～9月	共同通信社	CEL, 108, 60-63. 長崎新聞(2014/08/29), 埼玉新聞(2014/08/30), 河北新報(2014/08/31), 信濃毎日新聞, 秋田さきがけ, 愛媛新聞, 下野新聞(2014/09/01), 日本海新聞(2014/09/02), 南日本新聞(2014/09/03), 沖縄タイムズ(2014/09/07), 神奈川新聞(2014/09/10)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 多賀城市における東日本大震災被災者の精神健康状況について	共同	2014年5月27日	日本衛生学会	第84回日本衛生学会学術総会, 岡山
越境大気汚染のリスク認知と対策の日中比較	共同	2014年7月26日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第55回大会, 北海道
消防職員のストレス経験と外傷後成長	単独	2014年7月26日	日本社会心理学会	日本社会心理学会第55回大会, 北海道
Risk perception of risk analysts in Japan after the 2011 disaster.	共同	2014年8月22日	Society for risk analysis	The 2014 Society for risk analysis-Asia conference, Taipei, Taiwan.
Disaster Awareness and Preparedness among Teachers in Penang Island	共同	2014年9月6日	日本グループ・ダイナミックス学会	日本グループ・ダイナミックス学会第61回大会, 東洋大学
仮設住宅入居者の精神的健康と外傷後成長 —被災者による被災者支援の影響—	共同	2014年9月10日	日本心理学会	日本心理学会第78回大会, 同志社大学
防災教育に対する教師の認知 —防災教育の内容と教師の理解度—	単独	2014年11月7日	日本教育心理学会	日本教育心理学会第56回総会, 神戸
被災者による被災者支援業務の評価と課題 —多賀城市仮設住宅支援業務を例として—	共同	2014年11月8日	地域安全学会	第35回(2014年度)地域安全学会研究発表会(秋期), 静岡
2011年東日本大震災後におけるわが国のリスク研究者のリスク認知	共同	2014年11月30日	日本リスク研究学会	日本リスク研究学会第26回年次大会, 京都大学
Scenario analysis of Japanese society after the 2011 earthquake, tsunami, and nuclear disaster.	共同	2014年12月10日	Society for risk analysis	Society for Risk Analysis Annual Meeting 2014, Denver, Colorado, USA.
(招待講演) リスクコミュニケーション	単独	2014年2月13日	内閣府	防災スペシャリスト養成研修「来るべき巨大災害に備えて」, 東京
都市の防災力向上と心理学	単独	2014年2月25日	大阪市隣接都市協議会	平成25年度大阪市隣接都市協議会研修「市民協働のまちづくりと安心・安全」, 大阪
被災者による被災者支援の効果—多賀城市の事例による実証研究—	単独	2014年5月7日	関西大学	2014年度第1回関西大学社会安全学セミナー, 大阪
人はなぜ災害に備えないのか?	単独	2014年5月22日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部連続セミナー第6回「安全・安心社会と社会安全学」, 東京

社会安全学研究 第5号

防災とリスク教育	単独	2014年6月07日	ヒューマンインタフェース学会	研究談話会「情報弱者のための災害時情報支援のあり方」, 鳥根大学
生きる力を育む防災教育とは	単独	2014年7月23日	兵庫県教育委員会	平成26年度東播磨地区第1回防災教育研修会, 兵庫県
都市の防災力向上と心理	単独	2014年9月26日	大阪市隣接都市協議会	平成26年度 大阪市隣接都市協議会研修「都市と防災」, 大阪
近年の大規模災害からの考察—災害が起きた時に被害を最小限にするための防災力について—	単独	2014年10月17日	佐久広域連合	平成26年度佐久広域連合市町村職員人材育成事業市町村職員研修会, 長野
東日本大震災の仮設住宅入居者のメンタルヘルスと外傷後成長—被災者による被災者支援の有効性—	単独	2014年11月15日	名古屋大学大学院教育発達科学研究科	平成26年度名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理危機マネジメントコース特別企画, 名古屋大学
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C	代表	2014~17年度	1,040 (3,770)	防災行動における制御焦点と感情の役割の解明
科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発) 研究開発領域「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」	分担	2013~16年度	2,567 (7,160)	大規模災害リスク地域における消防団・民生委員・自主防災リーダー等も守る「コミュニティ防災」の創造
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本心理学会, 日本教育心理学会(編集委員), 日本グループ・ダイナミクス学会(理事), Asian Association of Social Psychology, 日本社会心理学会(理事), 日本リスク研究学会, Society for Risk Analysis, 地域安全学会, Society for Personality and Social Psychology, International Association of Applied Psychology, American Psychological Association				
(社会貢献活動)				
兵庫県, 学校防災アドバイザー 中大連携「中等部進路学習」「災害時のコミュニケーション」 2014年7月15日 関西大学中等部				
(その他業績として記載を希望する事項)				
大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター共同研究員				

研究業績

■ 山崎 栄一

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 防災・減災のための社会安全学	分担執筆	2014年3月	ミネルバァ書房	第8章 災害対策基本法の見直し 141～157頁
検証 被災者生活再建支援法	分担執筆	2014年3月	自然災害被災者支援促進連絡会	第1部 生活再建支援制度の経緯 東日本大震災における運用と課題 第2章 自治体の独自施策、第5章生活再建を支える社会的仕組み 16～29、54～58頁
(学術論文) 災害時要援護者とは 用語法の複雑性と支援のあり方	単著	2014年6月	日本災害復興学会	復興第10号 1～6頁
(その他、論考・研究資料等) 東日本大震災と法	単著	2014年3月	αシノドス	α-synodos vol.144 (2014/03/15) 約6000字
特集：大規模災害と社会保障Ⅰ 特集の趣旨	単著	2014年6月	国立社会保障・人口問題研究所	海外社会保障研究 No.187 2～3頁
地区防災計画の意義と進め方	単著	2014年9月	地区防災計画学会	地区防災計画学会誌 vol.1 71頁
レジリエンスを支える法制度	単著	2014年11月	大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所	情報誌 CEL 第108号 56～59頁
分科会C これからの復興情報を考える	単著	2014年12月	日本災害復興学会	JSDRR Newsletter Vol.20 (2014年12月17日) 3頁
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) これからの復興情報を考える	コーディネーター 司会	2014年10月24日	日本災害復興学会	日本災害復興学会2014年度長岡大会 分科会C アオーレ長岡市民交流ホールC
被災者支援法制度の系譜と今後	単独 パネラー	2014年11月15日	兵庫自治学会	シンポジウム「東日本大震災の住宅復興と自治体の災害対策」 神戸・元町中華会館
(招待講演) 災害時における個人情報の適切な取扱い～高齢者・障がい者等の安否確認、支援のために～	パネラー	2014年01月20日	日弁連 北海道弁護士会連合会 札幌弁護士会	ホテルさっぽろ芸文館3階 瑞雪の間
地域における災害対策のあり方	単独	2014年2月2日	総務省消防庁市町村災害対応支援事業	鳥取県岩美町役場
災害と法	単独	2014年2月3日	明石工業高等専門学校	明石工業高等専門学校
地域における災害対策のあり方	単独	2014年2月5日	大分県福祉保健部	災害時要援護者支援対策推進セミナー いいちこグランシアタ 音の泉ホール
災害法体系	単独	2014年2月6日	内閣府	防災スペシャリスト養成研修 有明の丘 基幹的広域防災拠点施設
被災者の生活再建と支援制度	単独	2014年2月12日	大分県	新任防災士研修 宇佐市役所
災害時における個人情報の適切な取扱い～高齢者・障がい者等の安否確認、支援のために～	パネラー	2014年2月17日	日弁連 宮崎県弁護士会連合会	宮崎県宮日会館
自然災害と被災者支援	単独	2014年3月29日	神戸大学	神戸大学 RUCSS オープンセミナー 神戸市役所4号館(危機管理センター)1階会議室
【報告】 県外避難者と被災者支援法制	単独	2014年3月30日	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)(海外学術調査)「復興・防災まちづくりとジェンダー～生活再建と制度設計に関する国際比較研究」 復興・防災まちづくりとジェンダー～生活再建と制度設計に関する国際比較研究	科研費 基盤研究(B)(海外学術調査)「復興・防災まちづくりとジェンダー～生活再建と制度設計に関する国際比較研究」シンポジウム 神戸国際会館 804号会議室

社会安全学研究 第5号

災害関連法体系基礎	単独	2014年6月6日 2014年6月26日	人と防災未来センター	災害対策専門研修（自治体職員向け） 人と防災未来センター
大規模災害時における主な役割と各体制の 在り方	単独	2014年6月9日	和歌山県海南市	第3回海南市災害対策検討部会（災害対策本部・生活再建プロジェクト） 海南市役所
減災講座 第3講 法制度から見た減災の 動き	単独	2014年6月25日	大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所	大阪ガス 都市魅力研究室
災害法体系	単独	2014年8月5日	内閣府	防災スペシャリスト養成研修 沖縄県庁
災害法体系	単独	2014年8月7日	内閣府	防災スペシャリスト養成研修 北海道庁
災害関連法体系基礎	単独	2014年8月8日	三重県 三重大学	平成26年度「市町防災担当職員を対象とした防災講座（初動期）」 三重大学
災害と法	単独	2014年8月26日	大阪工業高等専門学校	大阪工業高等専門学校
自然災害と地域防災	単独	2014年8月30日	北九州市	北九州市防災フォーラム2014 八幡市民会館
災害と法	単独	2014年9月2日	奈良工業高等専門学校	奈良工業高等専門学校
地域防災と自治体	単独	2014年9月3日	佐賀地域経済研究会	佐賀大学地域経済研究センター
避難行動要支援者避難支援事業市町村担当 者研修会	単独	2014年9月4日	福岡県	平成26年度福岡県「避難行動要支援者（災害時要援護者）避難支援事業」市町村担当者研修会 福岡県吉塚庁舎
災害時要援護者支援と個人情報	単独	2014年9月20日	横浜市栄区	平成26年度栄区災害時要援護者支援事業 横浜市栄区役所
都市災害と個人情報	単独	2014年10月3日	大阪市隣接都市協議会	秋期大阪市隣接都市協議会研修 キャンパスポート大阪 駅前第2ビル4階
防災における個人情報の利用と保護（講演） 企業価値を高める個人情報の利用と保護の 枠組み（パネルディスカッション）	単独 パネラー	2014年10月20日	関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科	第5回東京シンポジウム「ビッグデータ時代の個人情報—企業価値を高めるデータの利活用とコンプライアンス—」 日経ホール
被災者の生活再建と支援制度	単独	2014年11月8日	兵庫県	平成25年度「ひょうご防災リーダー講座」 兵庫県広域防災センター
防災一法一教育	単独	2014年11月29日	京都大学防災研究所 小淵沢総合研究施設	総合的防災教育の構築に関する研究集會 おうばくプラザ
自然災害と被災者支援	単独	2014年12月6日	日本公共政策学会関西支部	関西大学ミュージズキャンパス
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
基盤研究 (B) (海外学術調査)	分担	2013年度～ 2016年度	225	アジア諸国の災害管理・復興に資する法 制度構築の提言型学術調査
基盤研究 (B) (海外学術調査)	分担	2013年度～ 2015年度	200	復興・防災まちづくりとジェンダー—生 活再建と制度設計に関する国際比較研究
基盤研究 (C) (一般)	分担	2014年度～ 2016年度	600	住宅再建にかかる公的支援を補完するシ ステムの制度化—復興基金・義援金の役 割に着目して—
挑戦的萌芽研究	分担	2014年度～ 2015年度	200	日本の学校教育における防災教育の体系 化、スタンダードの構築
都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減 化プロジェクト (文部科学省)	分担	2012年度～ 2016年度	800	都市災害における災害対応能力の向上方 策に関する調査・研究
(所属学会)				
日本公法学会 日本社会保障法学会 日本公共政策学会 日本災害復興学会 (理事 法制度委員会副委員長) 日本災害情報学会 地域 安全学会 日本火災学会 地区防災計画学会 (幹事)				

研 究 業 績

(社会貢献活動)

総務省消防庁 予防行政のあり方に関する検討会 委員
大分県 事業評価監視委員会 委員
大分県 防災教育推進委員会 委員長
大分県 防災教育モデル実践事業にかかる防災教育アドバイザー
大分県 再生可能エネルギー等導入推進基金事業外部評価委員会 委員
大分県 広域防災拠点基本構想策定委員会 委員
大分県社会福祉協議会 地域福祉推進委員会 地域防災研究部会 委員
大分県社会福祉協議会 福祉避難所指定促進事業推進会議 委員
大分市 明るい選挙推進協議会 学識経験理事
中津市城北中学校「防災教育」実践委員会 委員長
NPO 法人 障害者自立支援センター ドリームロード 監査

(その他業績として記載を希望する事項)

山崎栄一『自然災害と被災者支援』日本評論社(2013年9月) 日本公共政策学会著作賞を受賞 2014年6月

■ 秋山 まゆみ

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 消費生活における安全と消費者庁の消費者行政	分担執筆	2015年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編『リスク管理のための社会安全学』pp.3~19
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(招待講演) 消費者安全法の概要と解釈	単独	2014年 2月、3月	消費者庁主催	消費者安全法地方説明会、名古屋、福岡、徳島、仙台、大阪
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本経済法学会 日本国際経済法学会				
(社会貢献活動) 公正取引委員会・関西経済法研究会 全国消費生活相談員協会研修講座				

研 究 業 績

■ 金 子 信 也

著書、学術論文等の名称	単著・共著 ・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 仮設住宅支援員―震災が生んだ「しごと」の記録―	分担執筆	2014年1月	関西大学社会安全学部	永松伸吾,「多賀城市における東日本大震災被災者の精神健康状況について」, pp.29-32
子どもの安全とリスク・コミュニケーション	分担執筆	2014年3月	関西大学出版部	関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班, 第VII章「子どもたちが困難やストレスを乗り越えるために」, pp.89-112 (共同研究につき, 本人担当部分抽出不可能)
(学術論文) トラックドライバーの精神健康調査	単著	2014年9月	日本衛生学会	日本衛生学雑誌, 第69巻第3号, pp.199-204, 査読有
被災者による被災者支援業務の評価と課題～多賀城市仮設住宅支援業務を例として～	共著	2014年11月	地域安全学会	地域安全学会論文集No.24, pp.183-190 (共同研究につき, 本人担当部分抽出不可能), 査読有
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 運輸関係者の精神健康調査	単独	2014年5月23日	日本産業衛生学会	第87回日本産業衛生学会(岡山コンベンションセンター [岡山県岡山市])
多賀城市における東日本大震災被災者の精神健康状況について	単独	2014年5月27日	日本衛生学会	第84回日本衛生学会学術総会(岡山コンベンションセンター [岡山県岡山市])
仮設住宅入居者の精神的健康と外傷後成長―被災者による被災者支援の影響―	共同	2014年9月10日	日本心理学会	日本心理学会第78回大会(同志社大学 [京都府京都市])
(招待講演) 被災者による被災者支援の効果―多賀城市の事例による実証研究―	共同	2014年5月9日	関西大学社会安全学部	2014年度 第1回関西大学社会安全学セミナー(関西大学 [大阪府高槻市])
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
以下, フリー記入				
(所属学会) 日本衛生学会 日本産業衛生学会 日本公衆衛生学会 日本リスクマネジメント学会(評議員・AMAROK Japan 主任研究員) ソーシャル・リスクマネジメント学会(事務局長代理)				
(社会貢献活動) 未来(あす)のトラック研究会委員 高槻市自殺対策連絡協議会委員				
(その他業績として記載を希望する事項) トラックドライバーの命と生活を守る集い 来賓(1月19日, 守口市生涯学習情報センター ムーブ21) 高槻市自殺対策連絡協議会 パネリスト(2月3日, 高槻市役所) 関西大学経済・政治研究所「顧問との懇談会」 研究報告者(2月14日, 関西大学千里山キャンパス児島惟謙館) 高槻市自殺対策連絡協議会 パネリスト(8月7日, 高槻市役所) 一般社団法人 運輸中小企業区域変革物流協会 理事会・合同会議 パネリスト(10月11日, (株)三愛本社) 日本リスクマネジメント学会 関西部会 AMAROK(フランス・経営者の健康調査機構)とのシンポジウム「中小企業・老舗企業経営者の健康とリスクマネジメント―経営者いきいき 中小企業いきいき 老舗いきいき 街いきいき―」パネリスト(11月14日, 京都市国際交流会館)				

■ 河野和宏

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(その他、論考・研究資料等) 関西大学のシラバスから見る情報セキュリティ教育の在り方	単著	2014年7月	関西大学インフォメーションテクノロジーセンター	関西大学インフォメーションテクノロジーセンター年報、No.4、P3-15(査読なし)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表) 高等教育機関における情報セキュリティ教育に関する一検討	単独	2014年1月22日	電子情報通信学会	2014年暗号と情報セキュリティシンポジウム(SCIS 2014)、6ページ、城山観光ホテル(査読なし)
指紋認証システムにおける物理的偽造に関する一考察	共同	2014年3月18日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2014年総合大会、A-7-5、P121、新潟大学(二神凌、中川文華、今井亮、岩城慎也、田頭健汰、中川直樹、松阪聡介、河野和宏)(査読なし)
スマートフォンにおける加速度・ジャイロセンサを用いた手軽な動作による所有者認証	共同	2014年3月18日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2014年総合大会、D-21-2、P193、新潟大学(荻田成樹、中村公美、河野和宏、伊藤義道、馬場口登)(査読なし)
ユーザの主観に適応したID種別毎のプライバシー保護	共同	2014年3月18日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2014年総合大会、D-21-3、P194、新潟大学(新井健介、河野和宏、馬場口登)(査読なし)
ポータルサイトおよびマイクロブログを通じた情報セキュリティに対する個人の興味関心の分析	共同	2014年3月19日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2014年総合大会、A-18-1、P232、新潟大学(石本ゆかり、河野和宏)(査読なし)
非接触式ICカードを利用した学内安否確認システム	共同	2014年3月19日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2014年総合大会、D-19-7、P183、新潟大学(山内雄大、河野和宏)(査読なし)
教科書「社会と情報」からみる情報セキュリティ教育の現状と問題点	共同	2014年3月21日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2014年総合大会、D-15-27、P166、新潟大学(山根敬登、河野和宏)(査読なし)
スマートフォン端末を用いた情報セキュリティ教育ツールの開発	共同	2014年3月21日	電子情報通信学会	電子情報通信学会2014年総合大会、D-15-28、P167、新潟大学(大野高寛、河野和宏)(査読なし)
適応型テンプレートによる行動的特徴を用いたモバイル端末認証	共同	2014年7月3日	電子情報通信学会 マルチメディア情報 ハイディング・エン リッチメント研究専 門委員会(EMM研)	電子情報通信学会技術研究報告、EMM 2014-21、P133-138、サン・リフレ函館(荻田成樹、中村公美、河野和宏、伊藤義道、馬場口登)(査読なし)
手指の構造からみたマルチタッチアクションのユーザビリティに関する一考察	共同	2014年9月2日	映像情報メディア学会	映像情報メディア学会2014年年次大会、22-2、1ページ、大阪大学(中村公美、河野和宏、伊藤義道、馬場口登)(査読なし)
(招待講演) 個人情報の利用における技術的課題 (テーマ: ビックデータ時代の個人情報—企業価値を高めるデータの利活用とコンプライアンス—)	単独	2014年10月20日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科、第5回東京シンポジウム、日経ホール
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究(A)	連携研究者	2012年～ 2016年	0円 (0円)	センシングで得られるプライバシー情報の開示に調和したユーザ利得の創出
関西大学教育研究高度化促進費	共同研究者	2014年	0円 (0円)	わが国の新たな情報法制の定立のための比較法研究と理解促進の取組

研 究 業 績

以下、フリー記入
(所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) 日本信頼性学会 (REAJ) 公益事業学会 (JSPU) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Association for Computing Machinery (ACM)
(社会貢献活動) 電子情報通信学会, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM 研)・専門委員 (2014年4月1日～)
(その他業績として記載を希望する事項) 2013年発表の「分散情報のサイズを考慮したQRコードにおける秘密分散法」(倉元雅樹, 河野和宏, 伊藤義道, 馬場口登) が2013年度 EMM 研究会学生研究賞を受賞

■ 近藤 誠 司

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 被災地デイズ	分担執筆	2014年7月	弘文堂	GENERATION TIMES (企画・編集), 矢守克也 (編著), p.45-47, p.77-79.
(学術論文) 新しい津波減災対策の提案—「個別訓練」の実践と「避難動画カルテ」の開発を通して	共著	2014年3月	日本災害情報学会	災害情報, 2, p.78-87.(孫 英英・近藤誠司・宮本 匠・矢守克也) (査読あり)
(その他, 論考・研究資料等) 災害報道の現場から	共著	2014年8月	災害報道のあり方研究セミナー	災害報道のあり方研究セミナー, p.42-53.
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称, 場所
(学会発表) 津波警報をめぐるリアリティの共同構築に向けて	単独	2014年9月7日	日本グループ・ダイナミックス学会	第61回大会 於・東洋大学白山キャンパス, 発表論文集, p.86-87.
危機意識を可視化する—津波防災教育を支援するコミュニケーションツールの開発—	単独	2014年9月13日	日本安全教育学会	第15回宮城大会 於・東北工業大学八木山キャンパス, 予稿集, p.32-33.
津波警報をめぐるリアリティの共同構築—危機意識を可視化するコミュニケーション・ツールの開発—	単独	2014年9月25日	日本自然災害学会	第33回 於・鹿児島大学 学術講演会講演概要集, p.59-60.
災害漫画のポテンシャルに関する考察—東日本大震災を例に—	単独	2014年10月25日	日本災害復興学会	2014長岡大会講演論文集, p.62-63. 於・アオーレ長岡
災害報道従事者が直面するジレンマ—災害報道版クロスロードの作成—	単独	2014年10月26日	日本災害情報学会	第16回研究発表会 於・アオーレ長岡 予稿集, p.160-161.
都市域における social involvement effect の検討—アーティファクトに着目した津波防災実践—	共同	2014年10月26日	日本災害情報学会	第16回研究発表会 於・アオーレ長岡 予稿集, p.198-199.(杉山高志・近藤誠司・矢守克也・畑山満則・鈴木進吾)
校内放送を活用した循環型防災学習プログラムの開発	共同	2014年12月7日	社会貢献学会	第5回大会 於・神戸学院大学ポートアイランドキャンパス 予稿集, p.7-10.(近藤誠司・山内翔真)
「災害報道版クロスロード」の開発に向けた一考察	共同	2014年12月8日	社会貢献学会	第5回大会 於・神戸学院大学ポートアイランドキャンパス 予稿集, p.53-54.(高橋拓也・近藤誠司)
災害漫画のポテンシャルに関する検討—東日本大震災を対象として—	共同	2014年12月9日	社会貢献学会	第5回大会 於・神戸学院大学ポートアイランドキャンパス 予稿集, p.55-56.(南野光佑・中泉圭幾・近藤誠司)
津波警報をめぐるリアリティの共同構築—危機意識を可視化するコミュニケーション・ツールの開発—	共同	2014年12月10日	社会貢献学会	第5回大会 於・神戸学院大学ポートアイランドキャンパス 予稿集, p.57-58.(浜岡篤史・近藤誠司)
都市域における social involvement effect の検討—情報共有ツールによるアイデンティティの変容—	共同	2014年12月11日	社会貢献学会	第5回大会 於・神戸学院大学ポートアイランドキャンパス 予稿集, p.59-60.(田島 篤・杉山高志・近藤誠司)
(招待講演) El rol de la cobertura de desastres a través de los medios masivos de comunicación	単独	2014年2月6日	JICA	平成25年度 JICA 地域別研修「中米防災対策」コース 於・JICA 兵庫
災害報道をめぐるリアリティの共同構築	単独	2014年3月7日	関西フィールドワーク社会心理学研究会	関西フィールドワーク社会心理学研究会 第5回研究会 於・京都大学吉田キャンパス
大規模災害時の報道のあり方について—リアリティとローカリティの観点から—	単独	2014年3月12日	G空間情報を活用した次世代防災・被災地支援システム研究会	G空間情報を活用した次世代防災・被災地支援システム研究会第3回シンポジウム基調講演 於・関西大学高槻ミューズキャンパス
越境・往還, そして連帯—ジャーナリズムとアカデミズムの地平—	単独	2014年3月24日	KOBE 虹会	KOBE 虹会 (第42回) 於・神戸市教育会館

研 究 業 績

災害リスクを前にした連帯～もうひとつのジャーナリズムを目指して～	単独	2014年3月28日	人と防災未来センター	災害報道のあり方研究セミナー「災害報道の現場から」第2回 於・神戸国際会館
巨大災害をめぐるリアリティの共同構築～防災・減災に向けたファーストステップ～	単独	2014年5月23日	東京女子医科大学	第18回城東救急・集中治療研究会“達人に学ぶ” 於・東京女子医科大学看護専門学校
地域防災のツボ	単独	2014年5月25日	神戸市長田区真陽小学校区防災福祉コミュニティ	神戸真陽・飯田三穂 交流会 於・神戸市立真陽小学校
Role of Disaster Reporting by Mass Media	単独	2014年5月26日	JICA	平成26年度JICA フィリピン国別研修「防災に関わる多様な関係者の能力向上」コース 於・JICA 兵庫
防災教育推進のために―実践事例に学ぶ―	単独	2014年6月6日	高槻市教育センター	平成26年度高槻市立小・中学校校長研修 於・高槻市教育センター
災害情報の受発信手法	単独	2014年6月17日	人と防災未来センター	平成26年度春期 災害対策専門研修 マネジメントコース：エキスパートB 於・人と防災未来センター
ポスト3.11における災害ジャーナリズム	単独	2014年6月18日	関西大学社会安全学部	関西大学社会安全セミナー2014年度第4回 於・関西大学高槻ミューズキャンパス
これならできる！津波避難～最新の調査結果～	共同	2014年6月28日	神戸市長田区真陽小学校区防災福祉コミュニティ	シンポジウム「これならできる！津波避難～最新の調査結果～」 於・神戸市立真陽小学校
地域防災のすすめ	単独	2014年6月29日	大阪府防災士会	大阪府防災士会2014年度支部総会 於・阿倍野学習センター
サイエンス・ミュージアムの知恵と工夫	単独	2014年7月1日	京都大学防災研究所阿武山観測所 稲むらの火の館津波防災教育センター	京都大学防災研究所阿武山観測所・稲むらの火の館津波防災教育センター交流事業 於・京都大学防災研究所阿武山観測所
映像コンテンツを活用した「防災学習」の紹介	単独	2014年7月24日	大阪府教育センター	平成26年度 小学校10年経験者研修 於・大阪府教育センター
リスク・コミュニケーションにおける社会的論争～災害報道の現場を例に考える～	単独	2014年7月25日	東北大学大学院理学研究科	東北大学理学研究科「科学コミュニケーション」特別講演 於・東北大学大学院理学研究科
映像コンテンツを活用した「防災学習」の紹介	単独	2014年7月30日	大阪府教育センター	平成26年度中学校10年経験者研修 於・大阪府教育センター
災害情報とリアリティ～防災・減災に向けた第1歩～	単独	2014年7月31日	京都市消防局	自主防災上級研修(1) 於・京都市消防学校
災害情報とリアリティ～防災・減災に向けた第1歩～	単独	2014年8月3日	京都市消防局	自主防災上級研修(2) 於・京都市消防学校
映像コンテンツを活用した「防災学習」の紹介	単独	2014年8月6日	大阪府教育センター	平成26年度高等学校10年経験者研修 平成26年度支援学校10年経験者研修 於・大阪府教育センター
地域の総力を活かすには～巨大災害をまえに～	単独	2014年8月23日	神戸西ロータリークラブ	神戸西ロータリークラブ例会 於・神戸ホテルオークラ
Role of Disaster Reporting by Mass Media	単独	2014年9月4日	JICA	ミャンマー国「自然災害早期警報システム構築プロジェクト」本邦研修 於・JICA 兵庫
みんなで取り組む地域防災～語り継ぐ・語り直す～	単独	2014年9月21日	稲むらの火の館津波防災教育センター	広川町語り部サークル結成10年記念講演会 於・和歌山県広川町町民会館
災害対応における広報のありかた	単独	2014年10月3日	広島県人と防災未来センター	災害対策専門研修「トップフォーラム in 広島」 於・広島県自治総合研修センター
防災教育を進めるために	単独	2014年10月10日	高槻市教育センター	平成26年度教務主任等研修・学校経営研修・学校安全研修・幼稚園研修 於・高槻市教育センター
災害情報の受発信手法	単独	2014年10月22日	人と防災未来センター	平成26年度秋期 災害対策専門研修 マネジメントコース：エキスパートB 於・人と防災未来センター

社会安全学研究 第5号

災害情報を活かすリスク・コミュニケーション～我が事に、そして我々事に～	単独	2014年11月1日	京都市防災協会	平成26年度 災害に強いまちづくり講座(Ⅲ) 於・京都市市民防災センター
コンサマトリーな防災 —Bosai, the treasure within—	単独	2014年11月5日	大阪ガス減災研究会	大阪ガス減災研究会(第5回) 於・大阪ガス都市魅力研究所
南海トラフ巨大地震に立ち向かうために“我が事/我々事”にする知恵と工夫	単独	2014年11月7日	尼崎市	尼崎市防災フォーラム2014 阪神・淡路大震災, 東日本大震災の経験を未来へ(阪神・淡路大震災20年事業) 基調講演およびコーディネーター 於・尼崎市総合文化センターあましんアルカイックホール・オクト
防災教育とリスク・コミュニケーション～我が事にする, 我々事にする～	単独	2014年11月14日	文部科学省 大阪府教育委員会	平成26年度学校安全教室推進事業防災教室・防災教育研修 基調講演およびコーディネーター 於・大阪市立男女共同参画センター西部館(クレオ大阪西)
地域防災実践におけるRealityとLocalityの意義	単独	2014年12月13日	地区防災計画学会	地区防災学会研究会(第4回) 於・関西情報センター
巨大災害時の報道のありかたについて～リアリティとローカリティの観点から～	単独	2014年12月26日	情報処理学会	第4回災害コミュニケーションシンポジウム 於・京都市宇治キャンパス・宇治おうばくプラザ・きはだホール
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円)	研究テーマ
(競争的資金)				
文部科学省科学研究費補助金・研究活動スタート支援	代表	2014年度～2015年度	1,170千円 (2,500千円)	地域防災に資する災害報道のベターメントを目指した基礎的研究
平成26年度 神戸発防災・減災等プログラム事業助成	代表	2014年度～2015年度	200千円	校内放送を活用した循環型防災学習プログラム
文部科学省・特別経費(プロジェクト分) 巨大地震津波災害に備える次世代型防災・減災社会形成のための研究事業—先端的防災研究と地域防災活動との相互参画型実践を通して—	中核研究 プロジェクト・リーダー	2012年度～2015年度	1,000千円	「ほうさい夢トーク」プロジェクト 減災を進める“等身大の科学”
科学技術振興機構 SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)「レジリエントな防災・減災機能の強化」	協力者	2014年度～2018年度	1,000千円	津波避難訓練および支援ツールの開発研究
以下、フリー記入				
(所属学会)				
日本自然災害学会 日本災害情報学会 日本災害復興学会(学会誌編集委員) 日本グループ・ダイナミックス学会 日本質的心理学会 日本安全教育学会 社会貢献学会(学術委員) 地区防災計画学会				
(社会貢献活動)				
日本地震学会・日本活断層学会・日本地震工学会3学会合同「阪神・淡路大震災20年シンポジウム」実行委員 ラジオ出演 NHK ラジオ第一(関西ローカル)「ほうさいコラム「巨大地震 みんなで情報を生かそう」(2014年3月6日放送) テレビ出演 サンテレビジョン「サンポート」徹底報道 災害報道のありかたについて(2014年7月25日放送) ラジオ出演 NHK ラジオ第一(全国放送)「ザ・サバイバル 都市直下地震を生き抜くために」(2014年9月1日放送) 新聞掲載 読売新聞(阪神版)「震災経験から防災学ぶ」(2014年11月8日地域面) ラジオ出演 NHK ラジオ第一(関西ローカル)「ほうさいコラム「阪神・淡路大震災と言葉」(2014年12月11日放送)				
(その他業績として記載を希望する事項)				
徳島大学大学院先端技術科学教育学部 非常勤講師 東北大学大学院理学研究科 非常勤講師 NHK ラジオ第一放送・関西ラジオワイド「ほうさい夢トーク」企画・取材・構成・編集アドバイザー NHK 大阪放送局・ラジオ緊急放送訓練講評(2014年11月20日) 高槻市立第九中学校・防災訓練資料作成(2014年11月25日) 震災20年研究会 交流会企画 震災遺族と防災研究者の交流会 プロデュース(2014年12月6日)				

研究業績

■ 城下英行

著書、学術論文等の名称	単著・共著・分担執筆	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨
(著書) 防災・減災のための社会安全学	分担執筆	2014年3月	ミネルヴァ書房	関西大学社会安全学部編。私は、「第6章 防災共育の実現に向けて」(pp.98-114)を担当した。
Hazards, Risks and, Disasters in Society	分担執筆	2014年11月	Academic Press	Andrew E. Collins, Samantha Jones, Bernard Manyena and Janaka Jayawickrama編。私は、Nibedita S Ray-Bennett, Anthony Masys, Peter Jacksonとともに「Reactive to pro-active to reflective disaster responses: introducing critical reflective practices in Disaster Risk Reduction」(pp.99-117)を担当した。
(学術論文) 率先避難者の定量的効果測定法の提案	共著	2014年9月	日本自然災害学会	井出佳野、城下英行著。自然災害科学, 第33巻特別号, pp.141-151 (査読有り)
High Impact/Low Frequency extreme events: Enabling Reflection and Resilience in a Hyper-Connected World	共著	2014年12月	Elsevier	Anthony Masys, Nibedita S Ray-Bennett, Hideyuki Shiroshita and Peter Jackson著。Procedia Economics and Finance, pp.772-779, DOI: 10.1016/S2212-5671(14)01001-6 (査読有り)
発表・講演の題目	共同・単独	年月日	学会・団体等の名称	大会等の名称、場所
(学会発表 (自発表のみ)) 防災共育を実現するための愛マッププロジェクト	共同	2014年9月13日	日本安全教育学会	日本安全教育学会第15回宮城大会, 東北工業大学
学び合う防災学習の理論と実践	単独	2014年9月15日	日本安全教育学会	仙台ワークショップ2014~防災教育/復興教育の研究と実践~, 仙台市情報・産業プラザ
Development of WebGIS System for Supporting New Disaster Education	単独	2014年9月17日~19日	European Association for the Study of Science and Technology	The EASST conference 2014, Nicolaus Copernicus University, Poland
率先避難者の定量的効果測定法の提案	共同	2014年9月23日	日本自然災害学会	第33回日本自然災害学会学術講演会, 鹿児島大学
分かり合うための防災共育の理論と実践	単独	2014年11月15日	科学技術社会論学会	科学技術社会論学会第13回年次研究大会, 大阪大学豊中キャンパス
(招待講演 (講演会・研修等)) もう1つの防災学習—共に学ぶ防災を目指して— 地震津波災害からの避難について 防災教育から防災共育へ BCPの基礎 共に学ぶ防災を目指して 誰もが主役になる防災を		2014年7月14日 2014年7月26日 2014年9月5日 2014年9月12日 2014年11月18日 2014年12月13日		平成26年度環境講演会, 兵庫県立尼崎北高等学校 印南町宇杉地区津波講演会, 印南町宇杉地区公民館 西宮市立子育て総合センター専門課題研修, 西宮市立子育て総合センター 大阪市東淀川区BCP研修, 東淀川郵便局 塚口西社会福祉連絡協議会・自主防災会防災講演会, 尼崎市立花公民館 中津市立城北中学校防災学習会, 中津市立城北中学校
資金制度・研究費名	役割 (代表・分担)	期間	平成26年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円)	研究テーマ
(競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・若手研究(B)	代表	2012年度~2014年度	700千円 (2100千円)	「防災共育」実現のための理論構築と地域社会での実践
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(B)	分担	2012年度~2015年度	200千円 (1300千円)	大規模環境汚染事故による地域の崩壊と復興:チェルノブイル, アイカ, フクシマ

社会安全学研究 第5号

京都大学防災研究所一般共同研究	代表	2013年度～ 2014年度	1600千円 (3200千円)	新しい津波避難支援ツールの開発と実装 —全国最悪の想定に挑む—
文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (A)	分担	2014年度～ 2018年度	400千円 (2000千円)	新しい津波避難支援ツールの開発に関する アクションリサーチ—巨大想定に挑む—
以下、フリー記入				
(所属学会) 日本自然災害学会 日本安全教育学会 日本災害情報学会 地域安全学会 日本地震工学会 大学教育学会 科学技術社会論学会				
(社会貢献活動) 大阪府立吹田東高等学校 学校協議会 委員 大阪府 防災教育推進委員会 委員長 泉大津市 防災会議 委員 泉大津市 第4次総合計画審議会 委員 泉大津市 セーフコミュニティ推進協議会 委員				
(その他業績として記載を希望する事項) 大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター 共同研究員 一般社団法人 地域原子力防災支援協議会 理事				

研究業績書（大学院生）

氏名	著書、学術論文等の名称	分担執筆・単著・共著	発行の年月	発行所	雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有もしくは査読相当の場合はその旨
【論文（査読有り）】					
<博士3年>					
寅屋敷 哲也	南海トラフ巨大地震による電力供給制約下の地域間電力融通における経済被害軽減対策効果の評価	共著	2014年11月	地域安全学会	地域安全学会論文集No.24, 寅屋敷哲也・河田恵昭・丸谷浩明, P303-310 (査読有)
寅屋敷 哲也	南海トラフ巨大地震における中・長期的な電力需給ギャップ推計方法の一試案	共著	2014年3月	関西大学	社会安全学研究No.4, 寅屋敷哲也・河田恵昭, P15-31 (査読有)
森下 祐	複雑な実港湾地形を対象とした津波による土砂移動特性の考察	共著	2014年6月	土木学会	土木学会論文集B3 (海洋開発), 森下祐, 高橋智幸, Vol.70, No.2 pp.I_594-I_599, 査読有
森下 祐	2011年東北地方太平洋沖地震津波来襲時の気仙沼湾を対象とした津波移動床モデルの再現性向上	共著	2014年11月	土木学会	土木学会論文集B2 (海岸工学), 森下祐, 高橋智幸, Vol.70, No.2 pp.I_491-I_495, 査読有
<博士2年>					
吉田 裕	国有鉄道における鉄道事故に関する史的解析序説	共著	2014年10月	鉄道史学会	鉄道史学第32号, P31-47, (共著) 吉田裕, 安部誠治, 査読有
門廻 充侍	南海トラフにおける多数津波シナリオの設定方法とその応用	共著	2014年11月	土木学会	土木学会論文集B2 (海岸工学), 門廻充侍, 高橋智幸, Vol.70, No.2 pp.I_351-I_355, 査読有
門廻 充侍	和歌山県沿岸に設置した海洋レーダによる近地津波および遠地津波の観測性能に関する数値実験	共著	2014年11月	土木学会	土木学会論文集B2 (海岸工学), 岡本萌, 門廻充侍, 高橋智幸, 日向博文, Vol.70, No.2 pp.I_356-I_360, 査読有
【論文（査読無し）】					
【その他、論考・研究資料等】					
<博士3年>					
寅屋敷 哲也	復旧・復興期の被災者雇用—緊急雇用創出事業が果たした役割を「キャッシュ・フォー・ワーク」の視点からみる—	共著	2014年12月	労働政策研究・研修機構	労働政策研究報告書No.169, 小野晶子・寅屋敷哲也・米澤旦・永松伸吾。私は、第I部分分析編第2章「緊急雇用創出事業における被災失業者の就業規模に影響する要因」(P21-38)と第II部事例編の5ケース (P96-100・125-132・174-179・180-187・193-198)を担当した。(査読有)
【学会発表】					
<博士3年>					
寅屋敷 哲也	南海トラフ巨大地震による電力供給制約下の地域間電力融通における経済被害軽減対策効果の評価	共同	2014年11月	地域安全学会	第35回地域安全学会研究発表会 (秋季), 静岡県地震防災センター
寅屋敷 哲也	Evaluation of Effect of Measures Against Electric Power Supply Restriction Due to Nankai Through Earthquake	共同	2014年10月	International Society for Integrated Disaster Risk Management	International Society for Integrated Disaster Risk Management 2014 Conference, Western University, ONTARIO, CANADA
松野 敬子	A study on playground risk management for children's injuries reduction in Kyoto city	単独	2014年5月14日	WHO Collaborating Center on Community Safety Promotion	The 7th Asian Conference on Safe Communities, Busan Korea
<博士2年>					
吉田 裕	ヒューマンエラーに起因する鉄道事故の防止に関する一考察	共同	2014年6月15日	公益事業学会	公益事業学会第64回大会 (駒澤大学)
吉田 裕	北陸トンネル列車火災事故 (昭和47年) とその教訓	共同	2014年10月4日	鉄道史学会	鉄道史学会第32回大会 (東洋大学)

<博士1年>					
江原 竜二	土木構造物の動的解析のための大阪平野の浅層地盤モデル	単独	2015年12月5日	日本地震工学シンポジウム運営委員会	第14回日本地震工学シンポジウム 会場：幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区） 日時：2015年12月4日(木)～6日(土)
門廻 充侍	Numerical experiment on far field and near field tsunamis concerning Oceanographic Radar observation	共同	2014年2月27日	Association for the Sciences of Limnology and Oceanography他	2014 Ocean Sciences Meeting, Honokulu, USA, Megumi Okamoto, Shuji Seto, Tomoyuki Takahashi and Hirohumi Hinata
門廻 充侍	Upgrading Tsunami Warning by Using the GPS-Mounted Buoys in the Nankai Trough	共同	2014年2月28日	Association for the Sciences of Limnology and Oceanography他	2014 Ocean Sciences Meeting, Honokulu, USA, Shuji Seto, Tomoyuki Takahashi and Yoshinari Hayashi
門廻 充侍	Model of Predicting Multi Tsunami Scenarios considering Large Slip Zone and Super Large Slip Zone and Its Application in the Nankai Trough	共同	2014年12月15日	American Geophysical Union	AGU 2014 Fall Meeting, San Francisco, Shuji Seto and Tomoyuki Takahashi
門廻 充侍	Numerical experiment on Observation Capabilities of Oceanographic Radar for Far Field Tsunami Off Chile	共同	2014年12月16日	American Geophysical Union	AGU 2014 Fall Meeting, San Francisco, Megumi Okamoto, Tomoyuki Takahashi, Shuji Seto, Hirofumi Hinata and Tomoya Kataoka
初谷 友希	フライトデータを用いた航空機操縦の技能習熟評価について	共同	2014年9月10日	ヒューマンインタフェース学会	ヒューマンインタフェースシンポジウム2014, 京都工芸繊維大学
初谷 友希	フライトデータを用いた航空機操縦の評価に関する一考察	共同	2014年9月12日	日本プラント・ヒューマンファクター学会	2014年度日本プラント・ヒューマンファクター学会大会, 日本大学生産工学部津田沼学舎
<修士2年>					
ナフィサ イスマイル	Disaster Awareness and Preparedness among Teachers in Penang Island	共同	2014年9月6日	日本グループ・ダイナミックス学会	日本グループ・ダイナミックス学会第61回大会, 東洋大学
堀越 卓仁	東日本大震災発生時の災害拠点病院における看護師の活動に影響を与えた要因に関する文献検討	単独	2014年8月20日	日本災害看護学会	日本災害看護学会第16回年次大会, 東京
<修士1年>					
岡田 夏美	小学校の教科書における防災教育内容の量的分析	共同	2014年10月26日	日本災害情報学会	日本災害情報学会第16回学会大会・新潟県長岡市
田村 嘉崇	地方公共団体の原子力防災体制の考察—避難自治体と受入れ自治体の現状と課題—	共同	2014年9月27日	日本公共政策学会	第7回関西支部大会 関西大学高槻ミュージックキャンパス ポスター報告
田村 嘉崇	北陸トンネル列車火災事故(昭和47年)とその教訓	共同	2014年10月4日	鉄道史学会	鉄道史学会 第32回大会・会員総会プログラム 東洋大学白山キャンパス
山本 耕士	住民救急の研究～タイにおける住民救急からの示唆～	単独	2014年7月11日	日本地域政策学会	日本地域政策学会 第13回全国研究【金沢】大会 於金沢星稜大学
山本 耕士	住民救急の研究～台湾における住民救急からの示唆～	単独	2014年9月27日	日本公共政策学会	日本公共政策学会第7回関西支部大会 於関西大学高槻ミュージックキャンパス
山森 滯夕	天然ゼオライト混和モルタルの電気抵抗率に及ぼす配合要因	共同	2014年3月8日	土木学会東北支部	土木学会東北支部技術研究発表会, 八戸工業大学, 大高理美, 徳重英信, 山森滯夕, 高橋智幸, 鶴田浩章
佐伯 萌	地方公共団体の原子力防災体制の考察—避難自治体と受入れ自治体の現状と課題—	共同	2014年9月27日	日本公共政策学会	第7回関西支部大会 関西大学高槻ミュージックキャンパス ポスター報告